

令和9（2027）年度 入 学 者 選 抜 要 項

一般選抜（前期日程・後期日程）

学 校 推 薦 型 選 抜

総 合 型 選 抜

帰 国 生 選 抜

私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜

国 際 バ カ ロ レ ア 選 抜

入学者選抜要項は、7月時点における入学者選抜にかかる基本的事項を示したものです。
各選抜の詳細及び出願方法については「学生募集要項」に記載されます。



東京学芸大学

Tokyo Gakugei University

令和8（2026）年7月

本学への出願を検討している皆様へ

「こども性暴力防止法」が
令和8年（2026年）12月25日にスタートします。
～実習生も性犯罪前科の有無の確認が求められる可能性があります～

令和8年（2026年）12月25日に「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」が施行されます。この法律は児童対象性暴力等の防止等のため、こどもに対して教育・保育などを行う学校（幼稚園を含む）や保育所などに性暴力を防ぐための取組を求めるものです。制度の詳細は以下のwebページをご覧ください。（制度全般に関するご質問はこども家庭庁にお問い合わせください。）

こども家庭庁「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」
<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

本学では非常に多くの学生が学校（幼稚園を含む）や保育所などで実習等を行うことから、同法の施行により学校（幼稚園を含む）や保育所などに求められる取組や実習生に関する留意点等について十分にご理解いただいたうえで、本学に出願してください。

【学校（幼稚園を含む）や保育所などに求められる取組】

日頃から、こどもを性暴力から守る環境づくりを進めます。

こどもと接する業務に就く人（実習生も含まれる）に、性犯罪前科の有無を確認します。

性暴力のおそれがある場合は、こどもと接する業務に就かせないようにします。

【実習生に関する留意点】

実習等の計画において、こどもと一対一になることが予定されている、期間が相当長期にわたるなど、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習等であると判断された場合、性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、性犯罪前科の有無の確認が必要かについての最終的な判断は、実習等を実施する学校（幼稚園を含む）や保育所などが行います。

性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁が開設するシステムに本人確認情報（戸籍など）の登録が必要となり、性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習等を行うことはできなくなります。

実習等を行うことができない場合、教育職員免許状（いわゆる教員免許）のほか、当該実習等を行うことが必要となる資格等の取得ができなくなることに加え、卒業要件を満たすことができず、卒業ができない可能性があります。

これらのことから、こども家庭庁及び文部科学省からの依頼に基づき、入学手続き時に同法に基づく実習生に関する留意点への同意書、性犯罪前科がない旨の誓約書を提出していただきます。

（性犯罪前科がない旨の誓約書は実習前にも提出していただきます。）

目 次

I. 共通事項（全ての選抜に共通）	2
1. 入学者選抜要項及び学生募集要項について	2
2. 受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談	2
3. 出願手続について	3
4. 入試等にかかる日程	3
5. 出願書類作成における生成 AI の利用について	4
6. ウェブサイト等での情報提供・お問い合わせについて	5
II. 東京学芸大学教育学部 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	6
III. 教育学部における課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等	9
1. 入学定員及び募集人員	9
2. 類・コース別の特別事項	10
IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕	11
1. 出願資格	11
2. 出願期間	12
3. 併願	12
4. 選抜方法	12
5. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）	12
6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表	14
7. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等	16
8. 小論文の概要	19
9. 実技試験等の内容	20
10. 配点一覧表	25
V. 学校推薦型選抜	27
1. 募集する課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員及び推薦可能人数	27
2. 出願資格	28
3. 出願期間	29
4. 選抜方法	29
5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点	30
6. 小論文の概要	31
7. 実技試験等の内容	33
VI. 総合型選抜	34
1. 募集する課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等	34
2. 出願資格	35
3. 出願期間	36
4. 選抜方法	36
5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点	37
6. 小論文の概要	38
7. 適性検査の内容	39
8. 面接に含まれるプレゼンテーション	42
VII. 帰国生選抜	43
1. 出願資格	43
2. 出願期間	43
3. 選抜方法	44
4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等	44
5. 小論文の概要	46
6. 実技試験等の内容	48
7. 配点一覧表	49
VIII. 私費外国人留学生選抜	50
1. 出願資格	50
2. 出願期間	50
3. 選抜方法	51
4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等	51
5. 小論文の概要	53
6. 実技試験等の内容	55
7. 配点一覧表	56
IX. 国際バカロレア選抜	57
1. 出願資格	57
2. 出願期間	57
3. 選抜方法	57
4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点	58
東京学芸大学教育学部 令和 8 (2026) 年度入試結果情報	59

I. 共通事項（全ての選抜に共通）

1. 入学者選抜要項及び学生募集要項について

- (1) 「入学者選抜要項」は、令和8(2026)年7月時点における令和9(2027)年度入学者選抜にかかる基本的な事項を記載したものです。それぞれの選抜の詳細は「学生募集要項」に記載されます。学生募集要項の公表予定時期は「**4. 入試等にかかる日程**」を参照してください。
- なお、学生募集要項は本学「学部入試情報サイト」（「**6. ウェブサイト等での情報提供・お問い合わせ**について」参照）に掲載し、紙媒体の発行はありません。
- (2) この入学者選抜要項では、本学が実施する「教科・科目に係る個別テスト」、「小論文」、「面接」、「実技検査」等を総称して「東京学芸大学入学試験」と表記しています。
- (3) この入学者選抜要項では、「教科・科目に係る個別テスト」を「個別テスト」と略して表記している箇所があります。
- (4) この入学者選抜要項では、教育学部の各課程における「専攻」を「類」で表記している場合があります。

課程	専攻	類
学校教育教員養成課程	初等教育専攻	A類
	中等教育専攻	B類
	特別支援教育専攻	C類
	養護教育専攻	D類
教育支援課程	教育支援専攻	E類

- (5) 学生募集要項にはそれぞれの選抜試験の詳細及び出願手続等の詳細が記載されます。

2. 受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談

- (1) 障がいがある等の理由で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、各選抜の学生募集要項公表後、事前相談締切日までに「事前相談申出書」を提出し、あらかじめ本学と相談のうえ出願してください。また、相談内容によっては対応に時間を要することがあります。締切日以降の相談についても引き続き配慮検討の対象となりますが、事前準備の都合上、相談の時期が遅くなるほど実際に提供できる受験上の配慮が限定される場合がありますので、余裕をもって相談してください。
- なお、複数の選抜・日程に出願する場合は、そのすべてに対して相談を行ってください。
- (2) 障がい等のある志願者が、選抜の際に不利に扱われることはありません。
- (3) 「事前相談申出書」（様式任意）には次の内容を記載し、診断書等の関係書類を添付してください。
- ① 志願する選抜区分及び日程、志願先（類、コース・プログラム）

② 障がい等の種類・程度

③ 受験上及び修学上の配慮を希望する事項

④ 高等学校（中等教育学校等を含む）でとられていた特別措置

⑤ 日常生活の状況

⑥ その他参考となる事項

⑦ 申請者の連絡先（住所、電話番号、メールアドレス等）※申請内容について把握している者

※ 一般選抜志願者は、申出書に加えて「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書」のコピーを添付。
- (4) お問い合わせ先、申請書類提出先（郵送）は「東京学芸大学 入試課学部入試係」です。
- (5) 相談締切日は、「**4. 入試等にかかる日程**」を参照してください。また、相談に対しての回答は各選抜の出願手続期間開始までに郵送により行います。

I. 共通事項（全ての選抜に共通）

3. 出願手続について

本学ではインターネット出願を導入しています。これについて、下記のことに留意してください。

- (1) 本学での出願手続は、「インターネット出願登録・検定料の支払い」及び「出願書類の郵送」の2段階により行います。出願手続期間・時間内にこの2段階の両方を完了しない場合は「出願」をしたことにはなりません。出願資格や志願先等によっては書類の準備に時間を要する場合がありますので、出願手続期間・時間内にスムーズに出願手続を行えるよう、余裕をもって準備してください（出願手続期間・時間及び出願書類の詳細は、各選抜の「学生募集要項」に掲載します）。
- (2) 学生募集要項及び出願書類所定用紙は冊子（紙媒体）での発行はせず、「学部入試情報サイト」に掲載します。（一般選抜学生募集要項を除く。）
一般選抜学生募集要項に限り、冊子体（紙媒体）のものを請求することができます。冊子体の印刷・発送業務は株式会社フロムページ（テレメール）に委託していますので、本学での配布は行っておりません。
- (3) インターネット環境が無い等の理由でインターネット出願が行えない場合は、各選抜の学生募集要項公表後、できるだけ早い時期に入試課学部入試係（042-329-7204）まで相談してください。出願手続期間開始後の申し出では配慮が困難な場合があります。
- (4) 学生募集要項（出願書類の所定様式を含む）及びインターネット出願サイトのリンクは「学部入試情報サイト」に掲載しますので、必ず当ウェブサイト内からアクセスしてください。本学が管理していない外部サイトに掲載されたリンク等からアクセスしたことにより志願者等が不利益（正確な情報が得られない、個人情報等を詐取される等）を被っても、本学では一切責任を負いません。

出願手続についての詳細は各選抜の「学生募集要項」に掲載しますが、今後変更する場合があります。学生募集要項公表後に変更等周知すべきことが生じた場合は「学部入試情報サイト」でお知らせしますので、随時確認してください。

4. 入試等にかかる日程

入試等にかかる日程は以下のとおりです。

なお、ここに記載するのは日程のみであり、「①出願登録期間」の開始時刻・終了時刻や出願方法等の詳細は、各選抜の「学生募集要項」に掲載します。

事項 選抜区分・日程	学生募集要項 公表	事前相談 締切日	出願手続期間（*1）		試験期日	合格者発表	入学手続期日 （最終日）
			①出願登録期間	②出願期間			
国際バカロレア選抜	2026年	9月1日	9月24日 ～10月7日	10月1日 ～10月7日	11月19日 11月20日	12月3日	12月14日
総合型選抜	8月上旬						
学校推薦型選抜	2026年 9月上旬	10月1日	10月25日 ～11月4日	11月1日 ～11月4日			
帰国生選抜	2026年	11月25日	12月8日 ～12月17日	12月15日 ～12月17日	2027年 2月25日 2月26日	2027年 3月6日	2027年 3月15日
私費外国人留学生選抜	10月上旬						
一般選抜	前期日程	12月18日	2027年 1月22日 ～2月3日	2027年 1月25日 ～2月3日	2027年 3月12日	2027年 3月20日	2027年 3月27日
	後期日程						

（*1）出願手続期間には、「①出願登録期間」（インターネット出願サイトにおける出願登録及び検定料支払い）及び「②出願期間」（出願書類の郵送提出）の2つがあります。両方の手続を完了することで「出願」となります。

5. 出願書類作成における生成 AI の利用について

本学では以下のとおり注意喚起を行っておりますので、出願書類作成に当たっては、本文の主旨を踏まえて生成 AI を利用しないようお願いします。

受験生の皆さんへ

「入学希望理由書（総合型選抜）」「志願理由及び活動報告書（総合型選抜を除く全選抜）」やその他出願書類を作成する際、「ChatGPT」などの生成 AI を利用しないでください。

本学では、皆さんのそれぞれの思いや考え方に基づいた文章を記載していただきたいと考えています。生成 AI は便利なツールではありますが、自分の言葉で考えを表現することが大切です。生成 AI を利用せず、自分自身の言葉で志望理由や目標を記載してください。



学生募集要項及びインターネット出願サイトの URL 等については、すべて「学部入試情報サイト」に掲載します。

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/index.html>》

6. ウェブサイト等での情報提供・お問い合わせについて

- (1) 本学では公式ウェブサイト等で随時情報提供を行っています。公式ウェブサイトのほか、入学試験に関する情報については主に「学部入試情報サイト」に掲載しています。通常の情報提供に加え、入学者選抜要項の内容に変更が生じた場合や、その他周知すべきことが生じた場合には「学部入試情報サイト」でお知らせしますので、随時確認してください。

なお、災害等により公式ウェブサイト及び学部入試情報サイトの更新や閲覧ができなくなった場合、「臨時公式ウェブサイト」や「X（旧 Twitter）」にて情報提供を行う場合があります。また、このような状況となった場合、学部入試情報サイトに掲載している入学者選抜要項や学生募集要項の閲覧に支障が生じる場合がありますので、PC、スマートフォン等へのダウンロード又は印刷をしておくことを推奨します。

☞ 公式ウェブサイト	→ https://www.u-gakugei.ac.jp/	
☞ 学部入試情報サイト	→ https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/index.html	
☞ 公式 X（旧 Twitter）	→ https://x.com/TokyoGakugei	
☞ 臨時公式ウェブサイト	→ https://sites.google.com/site/gakugeiweb/	

- (2) 東京学芸大学入学試験についての問い合わせ、各種申請書等の郵送先はすべて下記のとおりです。

国立大学法人東京学芸大学 学務部入試課学部入試係
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4丁目1番1号
電話：042-329-7204

（注1）入試課では「入学試験に関する内容」以外の問い合わせ等には応じかねます。

（注2）入学試験についての問い合わせは「受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談」を除き、原則として志願者本人が行ってください。

（注3）電話による問い合わせの受付時間は休日（土曜日・日曜日・国民の祝日）及び大学が定める休業日を除く日の9時から12時及び13時から17時です。問い合わせへの回答には時間を要する場合がありますので、時間的・期間的余裕をもって問い合わせてください。なお、入学試験や各種手続等が休日に行われる場合は、当該業務及びそれに関連する問い合わせ対応のみを行います。

Ⅱ. 東京学芸大学教育学部 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育学部共通】

東京学芸大学は、豊かな教養と広い視野をもち、教育の諸課題や人間の発達についての深い理解と、専門的な学識・技能をもって、社会のさまざまな分野で教育的、協働的な実践を進めることができ、未来を切り拓くことができる「有為の教育者」を志す人を求めています。

このため、本学では学生が次のような目標をもって、大学の講義や演習、実習（教育実習等）、実験や自主ゼミナールに意欲的に取り組み、更にサークル活動、インターンシップ、ボランティア活動、海外や実社会での各種の体験活動等を通して、有意義で密度の濃い大学生活を送ることを期待します。

1. 深い教養と豊かな知識を身に付け、知的な創造力や探究心を磨き、教科等の専門的な学びを深めること
2. 子どもに対する愛情と教える喜びを育むこと
3. 社会の変化や多様な教育課題に関心を持ち、学校や社会をより良く変革する力を育むこと
4. 柔軟な感性と豊かなコミュニケーション能力、他者と協働する力や困難な諸課題にしなやかに対応する力を育むこと
5. 共生社会の実現に貢献し、国際的視野を身に付けること

本学は「有為の教育者」として直接に人間とかかわる人材を養成することから、入学者に対しては、特に、教師や教育支援人材への志望意欲を有していることを求めています。その上で、以下に述べるような各課程・専攻の教育内容に関わる学修を高等学校段階までに達成しているのみならず、多様な人々との豊富な相互交流の経験を有していることを期待しています。

本学は、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）、学校推薦型選抜、総合型選抜等の方法で入学者の選抜を行います。

一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストを利用し、教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに、教師又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を学科試験や実技試験、面接や小論文により評価します。

また、一般選抜（後期日程）では、前期日程同様大学入学共通テストを利用し、教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに、教師又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を面接や小論文、実技試験により評価します。

学校推薦型選抜では、各課程・専攻・コースにおいて面接や小論文、実技試験を行い、教育者になる強い意欲を有するかを評価するとともに、各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を有するかを評価します。

総合型選抜では、出願書類と各課程・専攻・コースにおいて行う小論文、適性検査、面接により、学校の内外を問わず取り組んできた様々な活動により培った資質・能力や、教育者になる強い意欲を有するかを評価するとともに、各課程・専攻・コースに必要とされる知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を有するかを総合的に評価します。

Ⅱ. 東京学芸大学教育学部 アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

各選抜区分において重視し評価する項目については下表のとおりです。

（下表に○が付されていない場合であっても、各項目に対する一定の評価は行います。）

選抜区分等		出題教科・科目等	教育者になる強い意欲	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
一般選抜		出願書類（※1）	○	○	○	○
		大学入学共通テスト		○	○	
		教科・科目に係る個別テスト		○	○	
		小論文（※2）	○	○	○	○
		面接（※2）	○	○	○	○
		実技試験（※3）		○	○	
学校推薦型選抜		出願書類（※4）	○	○	○	○
		小論文	○	○	○	○
		面接	○	○	○	○
		実技試験（※3）		○	○	
総合型選抜（※5）	第一次選考	入学希望理由書	○		○	
		活動報告書			○	○
		学修計画書	○			○
	第二次選考	小論文（※6）	○	○	○	○
		適性検査（※6）		○	○	○
		面接	○	○	○	○

（※1）出願書類一式は参考資料とする。ただし、E類生涯スポーツコースでは専用の様式に基づいた点数化も併せて行う。

（※2）各コース・プログラムで、いずれか又は両方を実施する。

（※3）一部コースで実施する。

（※4）出願書類一式を面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。ただし、A類保健体育コースでは専用の様式に基づいた点数化も併せて行う。

（※5）選考過程の全体で「学校の内外を問わず取り組んできた様々な活動により培った資質・能力」も評価する。また、出願時に提出する「調査書」は面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。

（※6）一部コース・プログラムでは、小論文又は適性検査のいずれかを実施する。

この他、帰国生選抜、私費外国人留学生選抜、国際バカロレア選抜など、多様な選抜方法によって、多様な人材を受け入れることを目指しています。

【学校教育教員養成課程】

〈初等教育専攻（Ａ類）〉

本専攻は、小学校の全教科等に関する幅広い知識・技能・指導力とともに、特定の教科や横断的領域に関する専門性をも兼ね備えた小学校の教師、または幼児教育の専門的知識・技能・指導力を備えた幼稚園の教師の養成を目的としています。

なお、日本の小学校においては、教科担任制が一部で導入されているものの、基本的に全科担任となっており、また、幼稚園においては、領域を総合的に指導する担任制となっていることから、本専攻の入学に対しては、どのコース（プログラム）においても、小学校・幼稚園で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校段階まで幅広く学修し、教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

〈中等教育専攻（Ｂ類）〉

本専攻は、中学校・高等学校の教科等に関する高度な専門性と、優れた実践力を兼ね備えた教師を養成することを目的としています。

なお、日本の中学校・高等学校においては、基本的に教科ごとの担任制となっていることから、本専攻の入学に対しては、それぞれのコースにおいて養成する教師の担当教科等に関連する諸科目を高等学校段階まで学修し、教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

〈特別支援教育専攻（Ｃ類）〉

本専攻は、特別支援教育全般とともに、聴覚障害、言語障害、知的発達障害、学習障害に関する高い専門性と優れた実践力を兼ね備えた教育者の養成を目的としています。

なお、日本の特別支援学校においては、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を施すことから、本専攻の入学に対しては、それぞれの学校で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校まで学修し、教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身に付けていることを期待しています。

〈養護教育専攻（Ｄ類）〉

本専攻は、子どもの多様で複雑な健康課題に対応し、発達段階を踏まえて心とからだの両面から子どもの健康支援ができる養護教諭の養成を目的としています。

養護教諭になるには、児童生徒、教職員の実態に即した健康相談や健康教育、保健指導等が実践できる専門的知識と技術を、大学４年間で身に付ける必要があります。そこで本専攻では、人間の健康や病気を理解する基礎力として、大学入学までに、特に「生物」と「保健」をしっかりと学修して、入学されることを期待しています。

【教育支援課程】

〈教育支援専攻（Ｅ類）〉

教育をめぐる現在の日本の社会状況は非常に複雑なものとなっています。そのため、学校・家庭・地域が連携しつつ、教育の営みを幅広く支援していく必要があります。

本専攻では、教育の基礎知識や教育に関する諸課題についての知識、教育支援の専門知識、ならびに協働力・ネットワーク力・マネジメント力を習得することを通じて、学校現場と協働して、様々な現代的教育課題の解決を支援する意欲と能力を備え、自ら考え行動できる教育支援人材を養成します。

そこで本専攻では、このような教育理念に共鳴するとともに、様々な教育現場をフィールドにして高度な実践力を身に付け、将来、学校・地域・教育行政・教育関連企業・教育関連NPO等の場で教育支援人材として活躍することに、強い意志と意欲を持って学ぼうとする人を求めています。

なお、本専攻の入学に対しては、高等学校段階までの各教科などの基礎的な学力をもとに、教育・人間・社会・文化・スポーツ・情報などに関する問題や課題に広く関心を寄せ、それらに取り組む意欲や態度を有していることを期待しています。

Ⅲ. 教育学部における課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等

1. 入学定員及び募集人員

課程	専攻（類）	コース・プログラム		入学定員	募 集 人 員（注1～4）								特別事項 （注5）	
					一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜	帰国生選抜	留学生選抜	私費外国人	国際バカロレア 選抜		高大接続プログラム 特別入試
					前期日程	後期日程								
学校教育教員養成課程	初等教育専攻（A類）	国語コース	80	50	10	20	—	△	△	△	△	△	⑦	
		社会コース	70	50	20	—	—	△	△	△	△	△	③	
		数学コース	65	50	15	—	—	△	△	△	△	△	④	
		理科コース	85	60	10	15	—	△	△	△	△	△	⑤	
		音楽コース	25	13	4	—	8	△	△	—	△			
		美術コース	25	15	—	7*	3	△	△	△	△			
		保健体育コース	40	30	—	10*	—	△	△	△	△			
		家庭コース	15	12	—	3*	—	△	△	△	△	①		
		英語コース	15	8	—	7	—	△	△	△	△			
		現代教育実践 コース	学校教育プログラム	20	15	5	—	—	△	△	△	△		
			学校心理プログラム	20	15	—	5*	—	△	△	△	△		
			国際教育プログラム	15	12	—	3	—	△	△	△	△		
			環境教育プログラム	20	17	—	—	3	△	△	—	△		
		ものづくり技術コース	10	7	—	2	1	△	△	△	△	②		
		幼児教育コース	20	16	—	4*	—	△	△	—	△			
		(小計)		525	370	64	76	15						
	中等教育専攻（B類）	国語コース	20	15	—	5	—	△	△	△	△			
		社会コース	25	20	5	—	—	△	△	△	△	③		
		数学コース	25	20	5	—	—	△	△	△	△	④		
		理科コース	45	35	5	5	—	△	△	△	△	⑤		
		音楽コース	20	15	—	—	5	△	△	—	△			
		美術コース	20	12	—	5*	3	△	△	△	△			
		保健体育コース	20	12	—	4*	4	△	△	△	△			
		家庭コース	10	8	—	—	2	△	△	△	△	①		
		技術コース	10	7	—	2	1	△	△	△	△	②		
		英語コース	15	8	—	7	—	△	△	△	△			
		書道コース	20	16	—	4	—	△	△	—	△			
		情報コース	20	15	—	—	5	△	△	△	△			
		(小計)		250	183	15	32	20						
	特別支援教育専攻（C類）		40	32	—	8*	—	△	△	△	△	⑥		
	養護教育専攻（D類）	養護教育コース	10	6	—	4*	—	△	△	—	△			
		【合計】		825	591	79	120	35						
教育支援課程	教育支援専攻（E類）	生涯学習・文化遺産教育コース	35	30	5	—	—	△	△	△	—			
		カウンセリングコース	20	13	—	7*	—	△	△	△	—			
		ソーシャルワークコース	20	18	—	2	—	△	△	—	—			
		多文化共生教育コース	40	30	10	—	—	△	△	△	—			
		情報教育コース	15	10	5	—	—	△	△	△	—			
		表現教育コース	20	15	—	5*	—	△	△	—	—			
		生涯スポーツコース	35	18	—	—	17	△	△	△	—			
	【合計】		185	134	20	14	17							
総 計		1,010	725	99	134	52								

※ 注記は次ページに記載しています。

Ⅲ. 教育学部における課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等

- (注1) 帰国生選抜、私費外国人留学生選抜、国際バカロレア選抜、高大接続プログラム特別入試（※）の募集人員「若干名」は、入学定員に含みます。
- (※) 東京学芸大学附属高等学校及び東京学芸大学附属国際中等教育学校からの特別入試。
- (注2) 募集人員において「一」は募集なし、「△」は若干名の募集を表します。
- (注3) 学校推薦型選抜の募集人員において、無印は選抜単位ごとに1校あたり1名以内、「*」は選抜単位ごとに1校あたり2名以内を推薦できる。詳細は、27ページを確認すること。
- (注4) 学校推薦型選抜、総合型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たない場合、一般選抜の合格者で補充します。
- (注5) 特別事項は「2. 類・コース別の特別事項」を参照すること。

2. 類・コース別の特別事項

(1) 一般選抜〔前期日程〕において第2志望を認めるコース

- ① A類家庭コース・B類家庭コースの間
A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。
- ② A類ものづくり技術コース・B類技術コースの間
A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。

(2) 一般選抜〔後期日程〕において第2志望を認めるコース

- ③ A類社会コース・B類社会コースの間
A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。
- ④ A類数学コース・B類数学コースの間
A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。
- ⑤ A類理科コース・B類理科コースの間
A類の志願者はB類を第2志望とすることができ、B類の志願者はA類を第2志望とすることができません。

(注1) 出願登録時に、第2志望の有無について選択することができます。

(注2) (1)及び(2)の第2志望を認めるコース間においては、A・B両類を合併して選抜を行い、志願先の類を優先して合格者を決定します。

(3) コースの決定を第2学年進級時に行う専攻

- ⑥ 特別支援教育専攻（C類）
この専攻には「聴覚障害・言語障害系コース」及び「発達障害・学習障害系コース」の2コースがあり、コースの決定は第2学年進級時に行います。
- ※ 入学者選抜は専攻単位で行います。

(4) サブコースの決定を第2学年進級時に行うコース

- ⑦ A類国語コース
このコースには「日本語教育サブコース」があり、サブコースの決定は第2学年進級時に行います。

IV. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

1. 出願資格

大学入学資格を有する者（令和9年3月31日までに有する見込みの者を含む）で、かつ、本学が指定する令和9年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目をすべて受験した者

大学入学資格を有する者とは、次の(1)から(3)のいずれかを満たす者を言います。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（注1）
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑧のいずれかに該当する者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（注2）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
 - ⑦ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、本学の教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注3）
 - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（注3）

（注1）特別支援学校高等部又は高等専門学校第3学年を修了した者が該当します。

（注2）外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）、GCE A レベル資格（英国）、国際 A レベル資格（英国）、欧州バカロレア資格（欧州連合構成国）のいずれかを有する者、国際的な評価団体（WASC, ACSI, NEASC, CIS, Cognia, COBIS）から認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者等が該当します。＊文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は今後追加されることがあります。追加が生じた場合、学部入試情報サイトに掲載しますので、確認してください。

（注3）上記大学入学資格の(3)⑦又は⑧により出願しようとする者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければならないので、以下の要領で申請書類を提出してください。

入学資格審査要領

◇提出書類

1. 申請書（所定様式：学部入試情報サイトに掲載）
 2. 卒業（修了）証明書（見込みの場合は見込証明書）
 3. 調査書又は成績証明書等（出身学校の長が作成し、厳封したもの）
 4. 出身学校等の教育課程が明らかとなる資料（学則、カリキュラム表、授業時間数一覧など）
 5. 返信用封筒（長形3号封筒に返送先を明記し、書留速達による返信用郵便切手（890円分）を貼付）
- ＊上記2.～4.の書類については「高等学校の課程に相当する課程以降の学歴に関するものすべて」を提出。
＊必要に応じて追加で証明書等の提出を求める場合があります。

◇審査体制・審査方法：本学学部入試委員会において、提出書類等に基づき適正に審査を行います。

◇提出先：東京学芸大学 学務部入試課学部入試係（郵送のみ）

◇申請期間

- 第1回（大学入学共通テストに出願する者）… 令和8年8月19日（水）～8月21日（金）期間内必着
第2回（大学入学共通テスト受験後に志望を変えて本学への出願を希望する者）
… 令和9年1月19日（火）～1月21日（木）期間内必着

◇申請方法

- ・封筒の表に「第○回 入学資格審査申請書類在中」と明記してください。
- ・申請は郵送（書留速達）としてください。

◇審査結果の通知

本学が定める様式により申請者本人に通知します。本学への入学資格を認定された者は、令和9年度一般選抜の出願時に認定書のコピー1部が必要となります。

2. 出願期間

令和9(2027)年1月25日(月)から同年2月3日(水)まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、2月1日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

3. 併 願

- (1) 志願者は国公立大学について、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部（本学においては課程，専攻，コース・プログラム）に出願することができます。同一日程の併願（「前期－前期」，「後期－後期」）はできません。ただし，独自日程で試験を実施する公立大学・学部は含まれません。
- (2) 前項(1)については，両日程（前期日程・後期日程）を本学（選抜を実施する課程，専攻，コース・プログラムに限る）とすることができます。

4. 選抜方法

大学入学共通テストと東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。大学入学共通テストの成績では学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度」）のうち「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力等」を評価します。東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素のすべて及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

なお，大学入学共通テストの各科目等の得点及び合計得点と，東京学芸大学入学試験の各科目等の得点のうち，いずれか1つでも本学の定めた基準点（令和9年5月頃に公表予定）に達していない場合は，総合点の如何にかかわらず不合格とします。また，本学が指定した東京学芸大学入学試験の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は，選抜の対象から除外します。

5. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）

- (1) 本学では大学入学共通テストの過年度の成績は利用しないので，必ず令和9年度大学入学共通テストを受験してください。本学が指定する教科・科目を1つでも受験していない者は出願無資格者となります。
- (2) 科目名については，次のとおりに省略して表記している箇所があります。

『地理総合，地理探究』→地探，『歴史総合，日本史探究』→日探，『歴史総合，世界史探究』→世探，
『公共，倫理』→公倫，『公共，政治・経済』→公政経，『地理総合／歴史総合／公共』→地歴公，
『数学Ⅰ，数学Ⅱ』→数ⅠⅡ，『数学Ⅲ，数学Ⅳ』→数ⅢⅣ
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→理基，物理→物，化学→化，生物→生，地学→地，
英語→英，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

- (3) 本学で成績を利用できる大学入学共通テストの教科・科目は下表のとおりとします。志願先によって教科における利用科目数が異なるので「6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表」で確認してください。

教科	本学で成績を利用できる科目	備 考
国語	国語	分野別の成績利用はしません。
地理歴史 公民	地探，日探，世探， 公倫，公政経，地歴公	- 地歴公は3つの出題範囲（「地理総合」「歴史総合」「公共」）から2つを選択解答すること。これをもって1科目の成績として取り扱う（以降の記載はこのことを前提とする）。 2科目受験の場合は選択できない科目の組み合わせがあるので，大学入学共通テスト受験案内を十分確認のうえ，間違いのないように科目登録及び選択解答すること。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

教科	本学で成績を利用できる科目	備 考
数学	① 数ⅠA	数学Ⅰは指定外科目です。
	② 数ⅡBC	
理科	理基，物，化，生，地	- 理基は4つの出題範囲（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）から2つを選択解答すること。これをもって1科目の成績として取り扱う（以降の記載はこのことを前提とする）。 2科目受験の場合でそのうち1科目を理基とする場合、理基以外の1科目については理基で選択解答した科目と同一名称を含む科目を不可とする。 （例）「物理基礎，化学基礎，生物」は可であるが、「<u>物理基礎</u>，化学基礎，<u>物理</u>」は不可となる。
外国語	英，独，仏，中，韓	次項(4)を参照すること。
情報	情報Ⅰ	

- (4) 「外国語」において「英語」を受験（選択解答）した者は、**リーディングとリスニングの両方の成績を利用します**（成績利用時のリーディング及びリスニングの配点比率は1対1とします）。ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除された場合は、リーディングの成績のみ利用し所定の配点に換算します。
- (5) 「地理歴史，公民」及び「理科」の試験時間において2科目を解答する場合は、解答順に第1解答科目，第2解答科目とします。
- (6) 「地理歴史，公民」及び「理科」において、本学が成績を利用する科目数を超えて受験（選択解答）していた場合の取り扱いは下表のとおりです。ただし、B類音楽コース及びB類美術コースについては(7)を参照してください。

状 況	取 り 扱 い
(a) 「地理歴史，公民」から1科目の成績を利用するところ，2科目を受験	第1解答科目の成績を利用します。
(b) 「理科」から1科目の成績を利用するところ，2科目を受験	第1解答科目の成績を利用します。
(c) 「地理歴史，公民」及び「理科」から3科目の成績を利用するところ，どちらも2科目の計4科目を受験	「地理歴史，公民」の第1解答科目，「理科」の第1解答科目の成績を両方利用し，加えてそれぞれの第2解答科目のうち高得点の1科目の計3科目の成績を利用します。

- (7) B類音楽コース及びB類美術コースにおいて国語，外国語及び情報を除く教科の成績利用方法については、「地理歴史，公民」，「理科」及び「数学①」の中から高得点の3科目の成績を利用します。ただし，「理科」の成績利用は1科目を上限とするので，2科目を受験していた場合は第1解答科目の成績を利用します。
- (8) 志願先に必要な教科・科目を一見満たしていても，(3)に記載した組み合わせ不可科目で受験していた場合，「高得点の科目成績を利用できない」又は「科目数不足により出願無資格となる」可能性があります。本学指定外の科目と組み合わせて受験（選択解答）する場合は，解答順に十分に注意してください（各パターンについては，「6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表」で確認すること）。

なお，教科・科目の選択方法についてのご質問には応じますが，**個別の問い合わせにより各個人の出願資格や成績利用科目を保証するものではないこと**に留意し，必ず志願者本人の理解と責任のもとで，大学入学共通テストの出願・受験及び本学への出願を行ってください。

6. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の確認表

以下に大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等の指定パターンと、その対象となる類・コースを示します。各教科において本学が指定した科目及び科目数を満たしているかを「確認欄」で確認してください。また、「5. 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等（共通事項）」も併せて確認してください。

パターンⅠ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース	教科	科目等	指定科目数	
A類数学 A類理科 A類ものづくり技術 B類数学 B類理科 B類技術 B類情報 D類養護教育 E類情報教育	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探、日探、世探、地歴公（注1）、 公倫、公政経	1	
	理科	理基（注2）、物、化、生、地	2	
	数学	① 数ⅠA	必須	
		② 数ⅡBC	必須	
	外国語	英、独、仏、中、韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
		〔6教科8科目〕		

パターンⅡ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース・プログラム	教科	科目等	指定科目数	
A類国語 A類社会 A類家庭 A類英語 A類現代教育実践 学校教育プログラム 学校心理プログラム 国際教育プログラム A類幼児教育 B類国語 B類社会 B類家庭 B類英語 E類生涯学習・文化遺産教育 E類カウンセリング E類ソーシャルワーク E類多文化共生教育 E類表現教育	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探、日探、世探、地歴公（注1）、 公倫、公政経	1又は2	3
	理科	理基（注2）、物、化、生、地	1又は2	
	数学	① 数ⅠA	必須	
		② 数ⅡBC	必須	
	外国語	英、独、仏、中、韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
		〔6教科8科目又は7教科8科目〕		

（注1）地歴公は3つの出題範囲（「地理総合」「歴史総合」「公共」）から2つを選択解答すること。これをもって1科目の成績として取り扱う。また、2科目受験の場合は選択できない科目の組み合わせがあるので、大学入学共通テスト受験案内を十分確認のうえ、間違いのないように科目登録及び選択解答すること。

（注2）理基は4つの出題範囲（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）から2つを選択解答すること。これをもって1科目の成績として取り扱う。また、2科目受験の場合でそのうち1科目を理基とする場合、理基以外の1科目については理基で選択解答した科目と同一名称を含む科目を不可とする。

（例）「物理基礎、化学基礎、生物」は可であるが、「物理基礎、化学基礎、物理」は不可となる。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

パターンⅢ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース・プログラム	教科	科目等	指定科目数	
A類現代教育実践 環境教育プログラム C類	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探、日探、世探、地歴公（注1）、 公倫、公政経	1	
	理科	理基（注2）、物、化、生、地	1	
	数学	① 数ⅠA	必須	
		② 数ⅡBC	必須	
	外国語	英、独、仏、中、韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
〔6教科7科目〕				

パターンⅣ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース	教科	科目等	指定科目数	
A類音楽 A類美術 A類保健体育 B類保健体育 B類書道 E類生涯スポーツ	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探、日探、世探、地歴公（注1）、 公倫、公政経	1	
	理科	理基（注2）、物、化、生、地	1	
	数学	① 数ⅠA	必須	
	外国語	英、独、仏、中、韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
〔6教科6科目〕				

パターンⅤ	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目等			確認欄
対象の類・コース	教科	科目等	指定科目数	
B類音楽 B類美術	国語	国語	必須	
	地理歴史 公民	地探、日探、世探、地歴公（注1）、 公倫、公政経	1又は2	3
	理科	理基（注2）、物、化、生、地	0又は1	
	数学	① 数ⅠA	0又は1	
	外国語	英、独、仏、中、韓 （英語はリスニング必須）	1	
	情報	情報Ⅰ	必須	
〔5教科6科目又は6教科6科目〕				

（注1）地歴公は3つの出題範囲（「地理総合」「歴史総合」「公共」）から2つを選択解答すること。これをもって1科目の成績として取り扱う。また、2科目受験の場合は選択できない科目の組み合わせがあるので、大学入学共通テスト受験案内を十分確認のうえ、間違いのないように科目登録及び選択解答すること。

（注2）理基は4つの出題範囲（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）から2つを選択解答すること。これをもって1科目の成績として取り扱う。また、2科目受験の場合でそのうち1科目を理基とする場合、理基以外の1科目については理基で選択解答した科目と同一名称を含む科目を不可とする。

（例）「物理基礎、化学基礎、生物」は可であるが、「物理基礎、化学基礎、物理」は不可となる。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

7. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等

(1-1) 試験期日〔前期日程〕 …… 令和9年2月25日(木)・2月26日(金)

(1-2) 試験日及び実施方法〔前期日程〕

課程	類・コース (PG: プログラム)	試験日	実施方法(注1)				摘要
			個別テスト等	小論文	実技検査	面接	
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	—	
	A 類 社 会 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	—	
	A 類 数 学 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	—	
	A 類 理 科 コ ー ス	2月25日(木)	◎2	◎	—	—	
	A 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。
	A 類 美 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎	◎	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎	—	
		2月26日(金)	—	—	—	◎	
	A 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	—	
	A 類 英 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	—	—	◎	面接は英語によるものを含む。
	A 類 現 代 教 育 実 践 コ ー ス	学校教育 PG	—	◎	—	—	
		学校心理 PG	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
		国際教育 PG	—	—	—	◎	
		環境教育 PG	◎1～2	◎	—	—	
	A 類 ものづくり技術コース	2月25日(木)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	—	◎	面接には幼児教育課題(記述)を含み、面接における口頭試問で用いる。
	B 類 国 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	—	
	B 類 社 会 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	—	
	B 類 数 学 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	—	
	B 類 理 科 コ ー ス	2月25日(木)	◎2	◎	—	—	
	B 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。
		2月26日(金)	—	—	—	◎	
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎	—	
		2月26日(金)	—	—	—	◎	
	B 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	—	
	B 類 技 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。
	B 類 英 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	—	—	◎	面接は英語によるものを含む。
	B 類 書 道 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	◎	—	
	B 類 情 報 コ ー ス	2月25日(木)	◎	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
	C 類	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	D 類 養 護 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
教育支援課程	E 類 生 涯 学 習 ・ 文 化 遺 産 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	—	
	E 類 カウンセリングコース	2月25日(木)	—	—	—	◎	
	E 類 ソーシャルワークコース	2月25日(木)	—	◎	—	—	
	E 類 多文化共生教育コース	2月25日(木)	—	◎	—	—	
	E 類 情 報 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	◎	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
	E 類 表 現 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	—	
	E 類 生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス	2月26日(金)	◎	—	—	◎	個別テスト等は「書類」を示す。

(注1) ◎印は受験が必須であることを、—印は受験を要しないことを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す(記載のないものは1教科又は1科目を課すことを示す)。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(2-1) 試験期日〔後期日程〕 …… 令和9年3月12日(金)

(2-2) 試験日及び実施方法〔後期日程〕

課程	類・コース (PG:プログラム)	試験日	実施方法(注1)				摘要
			個別テスト等	小論文	実技検査	面接	
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
	A 類 社 会 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	
	A 類 数 学 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
	A 類 理 科 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
	A 類 音 楽 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	◎	◎	日程の詳細は別途通知する。
	A 類 現 代 教 育 実 践 コ ー ス (学 校 教 育 P G)	3月12日(金)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
	B 類 社 会 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	
	B 類 数 学 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
	B 類 理 科 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。
教育支援課程	E 類 生 涯 学 習 ・ 文 化 遺 産 教 育 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	
	E 類 多 文 化 共 生 教 育 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	
	E 類 情 報 教 育 コ ー ス	3月12日(金)	—	—	—	◎	面接は口頭試問を含む。

(注1) ◎印は受験が必須であることを, —印は受験を要しないことを表す。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(3) 教科・科目に係る個別テスト等の詳細

対象の類・コース	個別テスト等の教科・科目等		必須又は 必要科目数	摘要	試験時間 (予定)
	出題教科	出題科目（範囲）			
A類国語コース B類国語コース B類書道コース	国語	現代の国語 言語文化 論理国語 文学国語 国語表現 古典探究	必須		120 分
A類社会コース B類社会コース	地理歴史	歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 地理総合	1 科目	『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合』，『公共』の4科目の中から1科目を選択する。	120 分
	公民	公共			
A類数学コース B類数学コース B類情報コース E類情報教育コース	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学C	必須	『数学A』は，図形の性質，場合の数と確率 『数学B』は，数列，統計的な推測 『数学C』は，ベクトル，平面上の曲線と複素数平面	120 分
A類理科コース	理科	(a) 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 (b) 物理基礎，物理 化学基礎，化学 生物基礎，生物 地学基礎，地学	1 1 計2科目	(a)・(b)各欄から1科目ずつの計2科目を選択する。 ただし，(a)－(b)間において同一名称を含む科目の選択は不可。 (例えば『物理基礎』と『物理基礎，物理』の組み合わせは不可。)	120 分 (2科目計)
B類理科コース	理科	物理基礎，物理 化学基礎，化学 生物基礎，生物 地学基礎，地学	2 科目		120 分 (2科目計)
A類英語コース B類英語コース	外国語 (英語)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ (ディクテーションを含む)	必須	試験時間のうち，筆記試験が 90 分，ディクテーションが約 10 分。	約 120 分
A類現代教育実践コース (環境教育プログラム)	理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	2 科目	「理科」又は「地理歴史・公民」のどちらかを選択する。	120 分 (理科の場合は2科目計)
	地理歴史	歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 地理総合	1 科目		
	公民	公共			
E類生涯スポーツコース	書類		必須	出願時に提出される書類を点数化する。書類の内容は志望理由，活動報告，活動報告に記された内容の証明書等とする。	

8. 小論文の概要

【前期日程】

(1) **A類国語コース・B類国語コース**

国語教育や日本語教育に関する課題とともにアドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教職への志望意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(2) **A類社会コース・B類社会コース**

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(3) **A類数学コース・B類数学コース**

数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(4) **A類理科コース・B類理科コース**

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲及び主体的に学習に取り組む態度等を評価する。

(5) **A類家庭コース・B類家庭コース**

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(6) **A類現代教育実践コース（学校教育プログラム）**

学校内外の教育に関する諸問題についての課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(7) **A類現代教育実践コース（環境教育プログラム）**

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(8) **B類書道コース**

書の文化と理論及び書写・書道教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) **C類（特別支援教育専攻）**

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) **D類養護教育コース**

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(11) E類生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(12) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力、思考力、表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(13) E類多文化共生教育コース

異文化理解や多文化共生に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(14) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

9. 実技試験等の内容

実技試験を課す類・コース及び試験科目名称は以下のとおりです。選択問題、選択課題及び選択する管弦打楽器は希望するものを出願時に登録すること。出願後及び試験場での変更は認めません。

対象の類・コース	科目名称	備考
A類美術コース	図工・美術実技	選択問題
B類美術コース	美術実技	選択問題
A類保健体育コース B類保健体育コース	体育実技 (基礎運動技能テスト)	複数の基礎的な運動の出来映えを評価
B類書道コース	書道実技	
A類音楽コース B類音楽コース	共通試験 ----- 音楽実技	前期日程のみ ----- 実技課題を選択 B類は前期日程のみ

(1) 図工・美術実技の内容（A類美術コース対象）

選択問題（次の2科目から1つを選択）

(a) 小論文（2時間、図工・美術教育について出題し、論述させ、基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。）

(b) 鉛筆による静物デッサン（2時間）

(2) 美術実技の内容（B類美術コース対象）

選択問題（次の2科目から1つを選択）

(a) 小論文（2時間、美術史について出題し、論述させ、基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。）

(b) 石膏デッサン（4時間、鉛筆又は木炭、併用も可）

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(3) 体育実技の内容（A類保健体育コース・B類保健体育コース対象）

基礎運動技能テストを実施する。内容は、ボール運動（バスケットボール、サッカー、バレーボール、ソフトボールから2種目）、器械運動^(※1)（マット運動、跳び箱運動、鉄棒運動から1種目）、陸上運動（走り幅跳び、ハードル走から1種目）の4種目とする。各運動で実施する種目は全受験者共通とし、当日指定する。

（※1）器械運動のマット運動は「伸膝前転」「ロンダート」、跳び箱運動は「頭はね跳び」、鉄棒運動は「逆上がり」「前方支持回転」「後方支持回転」「後ろ振り跳びひねり下り」とする。

(4) 書道実技の内容（B類書道コース対象）

科 目	内 容	
書道実技 (全て必須)	漢 字 の 書	創作 ㊦ 書体 …… 楷書、行書（平易な草書を含む） ㊦ 題材 …… 2字から6字程度の語句 ㊦ 用紙 …… 半紙（33.5cm×24.5cm）
	仮 名 の 書	臨書 用 紙 …… 半紙（同）
	漢字仮名交じりの書	創作 ㊦ 題材 …… 短歌、俳句など ㊦ 用紙 …… 小画仙紙半折 1/3（45cm×35cm）
	実 用 の 書 (硬 筆)	㊦ 題材 …… 漢字仮名交じり文 ㊦ 用紙 …… 罫線またはマス目、枠線の用紙

（注）実技試験に際しては次のものを準備すること。

大筆（小画仙紙半折用も含む）、小筆、硯、墨（固形墨を磨墨して持参するか、市販の液体墨でもよい）、文鎮、下敷き（小画仙紙半折用及び半紙用。ただし、罫線や枠が入ったものは不可）、鉛筆、消しゴム、室内靴、外用靴を入れる袋。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(5) 共通試験の内容（A類音楽コース・B類音楽コース対象（前期のみ））

- ㊦ 楽典（高等学校卒業程度の音楽に関する問題を含む，40 分間）
- ㊧ 聴音（単旋律及び大譜表による4声体和声，録音による音源で実施する）
- ㊨ 新曲視唱（8小節，予見30秒間）

(6-1) 音楽実技の内容（A類音楽コース対象）

- ① 下表のⅠ・Ⅱのいずれかを選択すること（出願時に登録）。
- ② 選択した番号内の試験項目はすべて必須となる（例 Ⅰ 選択者…声楽，ピアノが必須）。
- ③ 前期・後期日程で課題の内容が異なる項目があるので注意すること。
- ④ 楽譜の出版社は特に指定がない場合は不問とする。
- ⑤ 暗譜の指定がないものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。

番号	項目	日程	課題
Ⅰ	声楽	前期 後期	自由曲を1曲，原語かつ暗譜で歌う（調は自由。B類の声楽課題曲〔別表1〕から選んでもよい。コンコーネのような練習曲等は含まない）。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし，通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に2部提出すること（B類の声楽課題曲から選ぶ場合も同じ）。なお，楽譜は1ページA4の大きさとし，テープ等で製本しないこと。
	ピアノ	前期	次の中から任意の1曲を選び，第1楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 ・D.Scarlatti：ソナタ ニ短調 K.9/L.413 ・D.Scarlatti：ソナタ イ長調 K.113/L.345 ・J.Haydn：ソナタ ト長調 Hob.XVI：27 ・J.Haydn：ソナタ ホ短調 Hob.XVI：34 ・W.A.Mozart：ソナタ ト長調 KV283 ・W.A.Mozart：ソナタ ヘ長調 KV332
		後期	次の作曲家の作品から任意の1曲を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 （組曲やソナタからの楽章等の抜粋は可。ただし変奏曲の抜粋は認めない。） J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn
Ⅱ	声楽	前期 後期	Iと同じ。
	ピアノ	前期	I（前期）と同じ。
		後期	I（後期）と同じ。
	管弦打楽器		フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム， テューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ
		前期 後期	上記の楽器から1つを選択（出願時に申告）し， <u>自由曲</u> を1曲演奏する。繰り返しは省略し，無伴奏で演奏する。 ※マリンバ選択者は自由曲のみを演奏し，小太鼓基礎奏法は課さない。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

(6-2) 音楽実技の内容（B類音楽コース対象（前期のみ））

- ① 希望する専門分野に応じて、下表のⅠ～Ⅴから1つを選択すること（出願時に登録）。
（声楽＝Ⅰ，ピアノ＝Ⅱ，管弦打楽器＝Ⅲ，作曲＝Ⅳ，音楽学＝Ⅴ）
- ② 選択した番号内の試験項目はすべて必須となる（例 Ⅰ 選択者…声楽，ピアノが必須）。
- ③ 楽譜の出版社は特に指定がない場合は不問とする。
- ④ 暗譜の指定がないものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。

番号	項目	課題
Ⅰ	声楽	1) 声楽課題曲 7 曲〔別表 1〕のなかから 3 曲を選び，試験場で監督者から指定された 1 曲を，原語かつ暗譜で歌う。 2) 声楽課題曲 7 曲〔別表 1〕以外の自由曲 1 曲を，原語かつ暗譜で歌う（調は自由）。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし，通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に 2 部提出すること。なお，楽譜は 1 ページ A 4 の大きさとし，テープなどで製本しないこと。
	ピアノ	J.S.Bach：6 つの小プレリュード BWV933～938，又はインヴェンションとシンフォニア BWV772～801 より任意の 1 曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
Ⅱ	ピアノ	L.v.Beethoven：ピアノソナタ第 1 番～第 18 番より任意の 1 曲を選び，第 1 楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	声楽	声楽課題曲 7 曲〔別表 1〕のなかから 2 曲を選び，試験場で監督者から指定された 1 曲を，原語かつ暗譜で歌う。
Ⅲ	管弦打楽器	フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ
		上記の楽器から 1 つを選択（出願時に申告）し， <u>自由曲</u> を 1 曲演奏する。繰り返しは省略し，無伴奏で演奏する。 ※マリンバ選択者は自由曲のみを演奏し，小太鼓基礎奏法は課さない。
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。
Ⅳ	作曲	1) 与えられた低音旋律及び高音旋律に 4 声体和声を作る（転調，転位音を含む）。試験時間は 90 分。 2) 自作品（自筆又はコンピュータによる浄書，コピー可）を出願時に提出すること。形式，演奏形態及び曲数は自由（提出作品についての面接試問を含む）。提出楽譜は返還しない。
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。
Ⅴ	音楽学	1) 小論文（120 分） 2) 面接（口頭試問を含む）
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。

Ⅳ. 一般選抜〔前期日程・後期日程〕

〔別表 1〕 B 類の声楽課題曲

①	F.Gasparini	: Lasciar d'amarti	(ト短調, ヘ短調, ニ短調)
②	F.Gasparini	: Caro laccio	(ヘ長調, 変ホ長調, 変ニ長調)
③	G.Paisiello	: Nel cor più non mi sento	(ト長調, ヘ長調, 変ホ長調)
④	L.v.Beethoven	: Ich liebe dich	(ト長調, ヘ長調, 変ホ長調)
⑤	F.Schubert	: An die Musik	(ニ長調, ハ長調)
⑥	大中 寅二	: 椰子の実	(イ長調, ト長調)
⑦	山田 耕筈	: かやの木山の	(ニ長調, ハ長調)
1) ①～③は, イタリア歌曲集 1 (全音楽譜出版社), イタリア古典声楽曲集 1 (教育芸術社), 古典イタリア歌曲集 (カワイ出版) を使用すること。			
2) ⑥は, 2 番までを演奏すること。			

10. 配点一覧表

課程	類・コース (PG:プログラム)	日程	大学入学共通テスト(教科名下の数値は大学入試センターが示す配点)(注1,注2)										東京学芸大学入学試験(注4)				
			国語	地理歴史 公民	数学 I A	数学 II B C	理科	外国語 (注3)	情報	計	傾斜 配点 教科	個別テスト等	小論文	実技 検査	面接	計	摘要
学校教育 教員養成課程	A類国語	前期	200	各科目 100	100	100	100	200	100	1,000	—	400	50	—	—	450	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,200	国語	—	—	—	450	450	
	A類社会	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	300	30	—	—	330	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	300	300	
	A類数学	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	—	450	50	—	—	500	
		後期	200	100	300	300	200	200	100	1,400	数学	—	—	—	350	350	
	A類理科	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	—	*400	40	—	—	440	理科は各科目 200
		後期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	—	—	—	—	400	400	
	A類音楽	前期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	—	—	*400	40	440	実技は音楽実技 250, 共通試験 150
		後期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	—	—	260	40	300	
	A類美術	前期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	—	—	350	35	385	
		後期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	—	—	200	200	400	
	A類保健体育	前期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	—	—	—	—	300	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	300	—	—	300	
	A類家庭	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	450	—	—	50	500	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	300	—	—	300	
	A類英語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	—	300	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	300	300	
		前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	350	350	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	450	450	
	A類ものづくり技術	前期	200	100	150	150	200	200	150	1,150	数学 情報	*400	30	—	—	430	理科の場合は各科目 200
		後期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	—	—	—	—	400	400	
		前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	500	500	面接(幼児教育課題を含む) 500
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	1,200	100	—	—	1,300	
	B類国語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	300	30	—	—	330	
		後期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	300	300	
	B類社会	前期	200	100	200	200	200	200	100	1,200	数学	1,000	100	—	—	1,100	
		後期	200	100	300	300	200	200	100	1,400	数学	—	—	—	350	350	
	B類数学	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	—	*1,000	100	—	—	1,100	理科は各科目 500
		後期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	—	—	—	—	400	400	
	B類理科	前期	300	(100)	(100)	—	(100)	300	100	1,000	国語 外国語	—	—	*1,000	100	1,100	実技は音楽実技 700, 共通試験 300
		後期	300	(100)	(100)	—	(100)	300	100	1,000	—	—	—	—	100	1,100	

課 程	類・コース (PG:プログラム)	日程	大学入学共通テスト(教科名下の数値は大学入試センターが示す配点)(注1,注2)										東京学芸大学入学試験(注4)				
			国語 200	地理歴史 公民 各科目100	数学 ⅠA 100	数学 ⅡBC 100	理科 各科目100	外国語 (注3) 200	情報 100	計	傾斜 配点 教科	個別テスト等	小論文	実技 検査	面接	計	摘要
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	B類美術	前期	200	(100)	(100)	—	(100)	200	100	800	—	—	—	500	200	700	
	B類保健体育	前期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	—	—	200	200	400	
	B類家庭	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	300	—	—	300	
	B類技術	前期	200	100	150	150	200	200	150	1,150	数学 情報	—	—	—	400	400	
	B類英語	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	300	100	1,100	外国語	500	—	—	50	550	
	B類書道	前期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	400	200	600	—	1,200	
	B類情報	前期	200	100	100	100	200	200	200	1,100	情報	400	—	—	50	450	
	C類	前期	200	100	100	100	100	200	100	900	—	—	150	—	150	300	
	D類養護教育	前期	200	100	100	100	200	200	100	1,000	—	—	300	—	100	400	
	E類生涯学習 ・文化遺産教育	前期 後期	200 200	(100-200) (100-200)	100 100	100 100	(100-200) (100-200)	200 200	100 100	1,000 1,000	—	—	500	—	—	500	
教 育 支 援 課 程	E類カウセリング	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	—	—	400	400	
	E類ソーシヤルワーク	前期	200	(100-200)	100	100	(100-200)	200	100	1,000	—	—	500	—	—	500	
	E類多文化共生教育	前期 後期	200 200	(100-200) (100-200)	100 100	100 100	(100-200) (100-200)	300 300	100 100	1,100 1,100	外国語 外国語	—	500	—	—	500	
	E類情報教育	前期 後期	200 200	100 100	100 200	100 200	200	200	200	1,100 1,300	情報 数学 情報	500 —	—	—	300	300	
	E類表現教育	前期	300	(100-200)	100	100	(100-200)	500	100	1,400	国語 外国語	—	1,400	—	—	1,400	
	E類生涯スポーツ	前期	200	100	100	—	100	200	100	800	—	300	—	—	300	600	個別テスト等(書類)300

(注1) 括弧付きの配点は選択教科・科目を示す。「(100-200)」については、1科目選択の場合は100、2科目選択の場合は200とする。

(注2) 地理歴史・公民⇒「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共(出題範囲から2つを選択解答)」「公共、倫理」

「公共、政治・経済」

理科⇒「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(出題範囲から2つを選択解答)」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」

(注3) 外国語において「英語」を受験した場合、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計を、配点比率1対1のまま本表の配点に換算する。ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除されている者については、リーディングの得点を本表の配点に換算する。

(注4) *を付した配点は複数科目の合計配点を示し、その内訳を摘要欄に記載している。

V. 学校推薦型選抜

各課程、専攻、コース・プログラムが求める推薦要件を満たし、合格した場合には本学への入学を確約できる志願者を、出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを免除し、小論文・実技・面接及び推薦書・調査書等により選抜を行います。

特に、学校教育教員養成課程の各専攻（A・B・C・D類）では、将来教員となる強い意欲を有することを推薦要件とします。

なお、本学では「学校推薦型選抜」と「総合型選抜」の同時出願（併願）はできません。

1. 募集する課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員及び推薦可能人数

課程	専攻（類）	コース・プログラム	募集人員 （注１）	推薦可能人数 （注２）
学校教育教員養成課程	初等教育専攻（Ａ類）	国語コース	20	1
		理科コース	15	1
		美術コース	7	2
		保健体育コース	10	2
		家庭コース	3	2
		英語コース	7	1
		現代教育実践コース （学校心理プログラム）	5	2
		現代教育実践コース （国際教育プログラム）	3	1
		ものづくり技術コース	2	1
		幼児教育コース	4	2
	中等教育専攻（Ｂ類）	国語コース	5	1
		理科コース	5	1
		美術コース	5	2
		保健体育コース	4	2
		技術コース	2	1
		英語コース	7	1
		書道コース	4	1
	特別支援教育専攻（Ｃ類）		8	2
	養護教育専攻（Ｄ類）	養護教育コース	4	2
教育支援課程	教育支援専攻（Ｅ類）	カウンセリングコース	7	2
		ソーシャルワークコース	2	1
		表現教育コース	5	2
合 計			134	(33)

(注1) 学校推薦型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

(注2) 「推薦可能人数」は、各専攻、コース・プログラムごとに1校あたりから推薦できる者の数を表す。

(よって、1校からは最大で33人まで推薦できることを意味する。)

V. 学校推薦型選抜

2. 出願資格

次の基礎資格及び推薦要件を満たす者で、学校長が優れていると認め、責任をもって推薦できる者。募集する専攻、コース・プログラムごとに1校当たりから推薦できる人数は推薦要件中に示す。

(1) **基礎資格** …… 次に示す①から④のいずれかに令和3年4月から令和9年3月までに該当又は該当する見込みであること。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 特別支援学校の高等部の課程を修了した者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ④ 上記①から③のいずれにも該当しない者で**中等教育専攻（B類）技術コース**を志願する者に限り、高等専門学校の第3学年を修了した者

(2) **推薦要件** ……志願する類、コース・プログラムの下表に示す推薦要件をすべて満たし、合格した場合には本学への入学を確約できる者であること。

課程	類・コース・プログラム	推 薦 要 件
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A 類 理 科 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、理科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 「物理」「化学」「生物」「地学」のうち少なくとも2つを履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A 類 美 術 コ ー ス	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 美術又は工芸の科目を履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 校内、校外の体育・スポーツ活動に積極的に参加し、優れた実績や能力を有する者 4. 体育・スポーツ活動を継続しようとする意志が強固である者 5. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	A 類 家 庭 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、家庭科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 家庭科の成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	A 類 英 語 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、英語に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A 類現代教育実践コース (学校心理プログラム)	1. 人物、学力ともに優れ、学校心理学に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	A 類現代教育実践コース (国際教育プログラム)	1. 人物、学力ともに優れ、本プログラムに関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 学校の内外を問わず、国際交流活動に参加した経験を有する者あるいは国際交流活動への参加を計画していた者（※） 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A 類ものづくり技術コース	1. 人物、学力ともに優れ、ものづくりと技術に興味があり、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、将来幼稚園教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	B 類 国 語 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする

V. 学校推薦型選抜

課程	類・コース・プログラム	推 薦 要 件
学校教育教員養成課程	B 類 理 科 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、理科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 「物理」「化学」「生物」「地学」のうち少なくとも2つを履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	B 類 美 術 コ ー ス	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の芸術及び他のいずれか1教科の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 美術又は工芸の科目を履修し、その成績が特に優れている者 4. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 校内、校外の体育・スポーツ活動に積極的に参加した者 4. 「B類の試験競技一覧」（33ページ参照）に示した競技・種目において、公式戦に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者 5. 当該競技・種目を継続しようとする意志が強固である者 6. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	B 類 技 術 コ ー ス	1. 人物に優れ、学習意欲旺盛で、将来中学校（技術科）又は高等学校（工業科）の教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	B 類 英 語 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、英語に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	B 類 書 道 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	C 類	1. 人物、学力ともに優れ、特別支援教育への関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	D 類 養 護 教 育 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、子どもの健康への関心が高く、将来養護教諭となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
教育支援課程	E 類 カウンセリングコース	1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする
	E 類 ソーシャルワークコース	1. 人物、学力ともに優れ、社会福祉の理論と実践に強い関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり1名とする
	E 類 表 現 教 育 コ ー ス	1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 3. 推薦できる者の数は、1校当たり2名以内とする

（※）「国際交流活動への参加を計画していた者」について…新型コロナウイルス感染症の流行により、国際交流活動が中止になった等の理由で参加の実績がない者が該当する。

3. 出願期間

令和8(2026)年11月1日（日）から同年11月4日（水）まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、11月2日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

4. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）の全て及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

なお、東京学芸大学入学試験の各科目等の得点のうち、1つでも本学の定めた基準点（令和9年5月頃に公表予定）に達していない場合は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。また、本学が指定した東京学芸大学入学試験の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外します。

V. 学校推薦型選抜

5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点

- (1) 試験期日 …… 令和8年11月19日(木)【学校推薦型選抜を実施する全てのコース】
 令和8年11月20日(金)【A類保健体育コース、B類保健体育コース】
- (2) 出題教科・科目等及び配点（出題教科・科目等は全て必須、300点満点）

課程	類・コース・プログラム	試験日	出題教科・科目等	配点	摘要
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	120 180	口頭試問を含む。
	A 類 理 科 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	150 150	口頭試問を含む。
	A 類 美 術 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 図工・美術実技 面 接	100 100 100	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	11月19日(木)	書 類 体 育 実 技 小 論 文	50 50 100	書類について、出願時に提出される書類を点数化する。書類の内容は志望理由、活動報告、活動報告に記された内容の証明書等とする。
		11月20日(金)	面 接	100	
	A 類 家 庭 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	200 100	
	A 類 英 語 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	200 100	英語によるものを含む。 英語によるものを含む。
	A 類現代教育実践コース (学校心理プログラム)	11月19日(木)	小 論 文 面 接	100 200	
	A 類現代教育実践コース (国際教育プログラム)	11月19日(木)	小 論 文 面 接	100 200	
	A 類ものづくり技術コース	11月19日(木)	小 論 文 面 接	150 150	作品やそれを提示するための資料等の持ち込み不可。面接は口頭試問を含む。
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	100 200	ディスカッションを含む。
	B 類 国 語 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	120 180	口頭試問を含む。
	B 類 理 科 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	150 150	口頭試問を含む。
	B 類 美 術 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 美 術 実 技 面 接	100 100 100	
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	11月19日(木)	体 育 実 技 小 論 文	100 100	
		11月20日(金)	面 接	100	
	B 類 技 術 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	150 150	作品やそれを提示するための資料等の持ち込み不可。面接は口頭試問を含む。
	B 類 英 語 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文 面 接	200 100	英語によるものを含む。 英語によるものを含む。
	B 類 書 道 コ ー ス	11月19日(木)	小 論 文	100	
			書道実技・書道理論	100	
			面 接	100	
	C 類	11月19日(木)	小 論 文 面 接	150 150	
	D 類養護教育コース	11月19日(木)	小 論 文 面 接	150 150	
教育支援課程	E 類カウンセリングコース	11月19日(木)	小 論 文 面 接	100 200	
	E 類ソーシャルワークコース	11月19日(木)	小 論 文 面 接	200 100	
	E 類表現教育コース	11月19日(木)	小 論 文 面 接	100 200	

6. 小論文の概要

(1) A類国語コース・B類国語コース

国語教育や日本語教育に関する課題とともにアドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教職への志望意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(2) A類理科コース・B類理科コース

理科に関する課題を提示して、論述させ、知識・理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲及び主体的に学習に取り組む態度等を評価する。

(3) A類美術コース・B類美術コース

図画工作・美術科に関わる課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(4) A類保健体育コース・B類保健体育コース

保健体育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(5) A類家庭コース

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(6) A類英語コース・B類英語コース

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させる（英語によるものを含む）。理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(7) A類現代教育実践コース（学校心理プログラム）

子どもや学校の問題に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(8) A類現代教育実践コース（国際教育プログラム）

国際教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) A類ものづくり技術コース・B類技術コース

ものづくり・技術・科学・それらに関連する教育についての課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) A類幼児教育コース

幼児教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

V. 学校推薦型選抜

(11) B類書道コース

書写・書道教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(12) C類

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(13) D類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(14) E類カウンセリングコース

学校内外の諸問題について論述させ、論理的構成力・表現力などを総合的に評価する。

(15) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する課題等を提示して、論述させ、知識、思考力、表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(16) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

7. 実技試験等の内容

(1) 図工・美術実技の内容（A類美術コース対象）

鉛筆による静物デッサン（2時間）

(2) 美術実技の内容（B類美術コース対象）

石膏デッサン（2時間）
〔鉛筆又は木炭、併用も可〕

(3) 体育実技の内容（A類保健体育コース・B類保健体育コース対象）

【A類保健体育コース】

基礎運動技能テストを実施する。出願書類の「競技成績証明書」の「専門競技・種目」とは別の競技を、下表の「A類の試験競技一覧（個人競技）」から1競技、「A類の試験競技一覧（チーム競技）」から1競技の合計2競技を選択すること。

A類の試験競技一覧	
個人競技（*1）	陸上競技（50m ハードル）、器械運動（マット運動：伸膝前転、側方倒立回転、伸膝後転）
チーム競技	バスケットボール、サッカー、バレーボール、ソフトボール

（*1）専門競技が陸上競技の者は器械運動を、器械運動の者は陸上競技を選択すること。

【B類保健体育コース】

B類の試験競技一覧（1競技を選択すること。）	
陸上競技（*1）、競泳（100m 個人メドレー）（*2）、バレーボール（男子）、サッカー（男子）、ソフトボール（女子）、剣道、柔道、ラグビー、体操競技（男子6種目、女子4種目）	

（*1）陸上競技は、次の「陸上競技種目一覧」から1種目を選択すること。

陸上競技種目一覧
100m 走、400m 走、800m 走、1500m 走、1500m 競歩、走り幅跳び、走り高跳び、三段跳び、棒高跳び、砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ、男子 55m ハードル走（110m ハードル走に準じる）、女子 50m ハードル走（100m ハードル走に準じる）

（*2）競泳の推薦要件として認められる種目は個人メドレー、自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライのいずれか（リレーを含む。距離は問わない）とし、それ以外は認めない。

(4) 書道実技・書道理論の内容（B類書道コース対象）

科 目	項 目	内 容	
書道実技・ 書道理論 (全て必須)	書道実技	漢 字 の 書	臨書 用 紙 …… 半紙 (33.5cm×24.5cm)
		仮 名 の 書	臨書 用 紙 …… 半紙 (同)
		漢字仮名交じりの書	創作 ㊦ 題材 …… 短歌、俳句など ㊦ 用紙 …… 小画仙紙全紙 1/3 (45cm×70cm)
	書道理論	日本・中国書道史、書道理論（例：書道用語）等	

（注）実技試験に際しては次のものを準備すること。

大筆（小画仙紙全紙 1/3 用も含む）、小筆、硯、墨（固形墨を磨墨して持参するか、市販の液体墨でもよい）、文鎮、下敷き（小画仙紙全紙 1/3 に対応する大きさのもの及び半紙用。ただし、罫線や枠が入ったものは不可）。

Ⅵ. 総合型選抜

以下の各専攻・コース・プログラムにおいて、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定する「総合型選抜」を実施します。

「総合型選抜」では、出願書類・小論文・適性検査・面接等によって、本学が求める基礎学力や「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」などを評価しつつ、卒業後に学校教員（教育支援課程の場合は教育支援職）になるという強い意欲や、そのための適性等も重視しながら、総合的に判定をします。

なお、本学では「学校推薦型選抜」と「総合型選抜」の同時出願（併願）はできません。

1. 募集する課程、専攻（類）、コース・プログラムの募集人員等

課程	専攻（類）	コース・プログラム	募集人員 (注)
学校教育教員養成課程	初等教育専攻（A類）	音楽コース	8
		美術コース	3
		現代教育実践コース （環境教育プログラム）	3
		ものづくり技術コース	1
	中等教育専攻（B類）	音楽コース	5
		美術コース	3
		保健体育コース	4
		家庭コース	2
		技術コース	1
		情報コース	5
教育支援課程	教育支援専攻（E類）	生涯スポーツコース	17
合 計			52

（注）総合型選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

2. 出願資格

大学入学資格を有する者（令和9年3月31日までに有する見込みの者を含む）で、かつ、出願要件の(1)(2)の両方に該当する者。

〔出願要件〕

- (1) 卒業後に学校教員（教育支援課程の場合は教育支援職）になるという強い意欲を有している者
- (2) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者

大学入学資格を有する者とは、次の(1)から(3)のいずれかを満たす者を言います。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（注1）
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の①から⑧のいずれかに該当する者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（注2）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
 - ⑦ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、本学の教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（注3）
 - ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（注3）

（注1）特別支援学校高等部又は高等専門学校第3学年を修了した者が該当します。

（注2）外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）、GCEA レベル資格（英国）、国際A レベル資格（英国）、欧州バカロレア資格（欧州連合構成国）のいずれかを有する者、国際的な評価団体（WASC, ACSI, NEASC, CIS, Cognia, COBIS）から認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者等が該当します。＊文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は今後追加されることがあります。追加が生じた場合、学部入試情報サイトに掲載しますので、確認してください。

（注3）上記大学入学資格の(3)⑦又は⑧により出願しようとする者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければならないので、以下の要領で申請書類を提出してください。

入学資格審査要領

◇提出書類

1. 申請書（所定様式：学部入試情報サイトに掲載）
 2. 卒業（修了）証明書（見込みの場合は見込証明書）
 3. 調査書又は成績証明書等（出身学校の長が作成し、厳封したもの）
 4. 出身学校等の教育課程が明らかとなる資料（学則、カリキュラム表、授業時間数一覧など）
 5. 返信用封筒（長形3号封筒に返送先を明記し、書留速達による返信用郵便切手（890円分）を貼付）
- ＊上記2.～4.の書類については「高等学校の課程に相当する課程以降の学歴に関するものすべて」を提出。
＊必要に応じて追加で証明書等の提出を求める場合があります。

◇審査体制・審査方法：本学学部入試委員会において、提出書類等に基づき適正に審査を行います。

◇提出先：東京学芸大学 学務部入試課学部入試係（郵送のみ）

◇申請期間

令和8年8月19日（水）～8月21日（金）期間内必着

◇申請方法

- ・封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と明記してください。
- ・申請は郵送（書留速達）としてください。

◇審査結果の通知

本学が定める様式により申請者本人に通知します。本学への入学資格を認定された者は、令和9年度総合型選抜の出願時に認定書のコピー1部が必要となります。

3. 出願期間

令和8(2026)年10月1日(木)から同年10月7日(水)まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、10月5日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

4. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、第一次選考では出願書類を、第二次選考では東京学芸大学入学試験の成績及び第一次選考の結果を総合して判定します。出願書類では学力の3要素(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」)のうち「思考力・判断力・表現力等」、「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

なお、出願書類及び東京学芸大学入学試験の各科目等の得点のうち、1つでも本学の定めた基準点(令和9年5月頃に公表予定)に達していない場合は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。また、本学が指定した東京学芸大学入学試験の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外します。

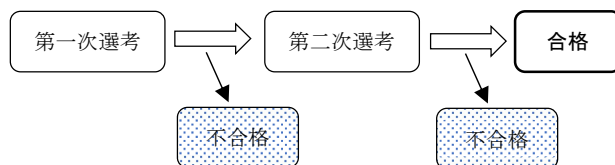
(1) 第一次選考 …各出願書類による選考を行います。

(※) 志願者数が本学の第二次選考対応可能人数を上回った場合の対応は以下のとおりです。

- ・二段階選抜を実施(第一次選考において不合格とする)します。
- ・二段階選抜を実施し、第一次選考において不合格となった志願者には、検定料の一部(13,000円)を返還します。

(2) 第二次選考 …小論文, 適性検査, 面接等による選考を行います。

〔「大学入学共通テスト」の成績は利用しません。〕



(※) 志願者数が本学の第二次選考対応可能人数を上回った場合に二段階選抜を実施

二段階選抜実施の有無にかかわらず、第一次選考と第二次選考の合計点で合否判定を行います。

Ⅵ. 総合型選抜

5. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点

- (1) 試験期日 …… 令和8年11月19日(木)【総合型選抜を実施する全てのコース】
 令和8年11月20日(金)【B類保健体育コース、E類生涯スポーツコース】
 ※試験時間等の詳細は、「学生募集要項」にて公表します(8月上旬予定)。

(2) 出題教科・科目等及び配点

〔第一次選考〕

全 学 共 通	出願書類	配点
	入学希望理由書	40
	活動報告書	40
	学修計画書	20

各出願書類の記載における留意点等は「学生募集要項」にて公表します(8月上旬予定)。

〔第二次選考〕

課程	類・コース・プログラム	試験日	出題教科・科目等	配点	摘要
学校教育教員養成課程	A 類 音 楽 コ ー ス	11月19日(木)	小論文	120	
			適性検査(音楽実技)	100	
			個人面接又は集団面接	80	口頭試問を含む。 口頭試問には高等学校で履修する音楽に関する内容を含む。
	A 類 美 術 コ ー ス	11月19日(木)	小論文	100	
			適性検査(実技)	100	
			個人面接又は集団面接	100	プレゼンテーションを含む。
	A類現代教育実践コース (環境教育プログラム)	11月19日(木)	小論文	100	
			個人面接又は集団面接	200	口頭試問を含む。
	A類ものづくり技術コース	11月19日(木)	適性検査 (プレゼンテーション)	150	質疑応答を含む。
			個人面接又は集団面接	150	口頭試問を含む。
	B 類 音 楽 コ ー ス	11月19日(木)	小論文	100	
			適性検査(音楽実技)	120	
			個人面接又は集団面接	80	口頭試問を含む。 口頭試問には高等学校で履修する音楽に関する内容を含む。
	B 類 美 術 コ ー ス	11月19日(木)	小論文	100	
			適性検査(実技)	100	
			個人面接又は集団面接	100	プレゼンテーションを含む。
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	11月19日(木)	小論文	100	
		11月20日(金)	個人面接	200	プレゼンテーションを含む。
	B 類 家 庭 コ ー ス	11月19日(木)	小論文	100	
			個人面接又は集団面接	200	プレゼンテーションを含む。
	B 類 技 術 コ ー ス	11月19日(木)	適性検査 (プレゼンテーション)	150	質疑応答を含む。
			個人面接又は集団面接	150	口頭試問を含む。
	B 類 情 報 コ ー ス	11月19日(木)	小論文	100	
			個人面接	200	口頭試問とプレゼンテーションを含む。
課 教 育 支 援 程 援	E 類 生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス	11月19日(木)	小論文	100	
		11月20日(金)	個人面接	200	プレゼンテーションを含む。

6. 小論文の概要

(1) A類音楽コース・B類音楽コース

音楽科に関わる課題を提示して、論述させ、知識や学力、論理的思考力、判断力、表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(2) A類美術コース・B類美術コース

図画工作・美術科に関わる課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(3) A類現代教育実践コース（環境教育プログラム）

環境問題や環境教育に関わる課題を提示して、論述させ、知識や学力、論理的思考力、判断力、表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(4) B類保健体育コース

保健体育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(5) B類家庭コース

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(6) B類情報コース

情報分野に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能・論理的な思考力・文章構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(7) E類生涯スポーツコース

生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

7. 適性検査の内容

(1-1) 適性検査（音楽実技）の内容（A類音楽コース対象）

I と II のいずれかを選択する。
 I 新曲視唱，声楽，ピアノ II 新曲視唱，声楽，ピアノ，管弦打楽器

詳細については以下のとおり。

- ① 下表の I・II のいずれかを選択すること（出願時に登録）。
- ② 選択した番号内の試験項目は全て必須となる（例：I 選択者…新曲視唱，声楽，ピアノが必須）。
- ③ 楽譜の出版社は特に指定が無い場合は不問とする。
- ④ 暗譜の指定が無いものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。
- ⑤ 新曲視唱は 8 小節，予見 30 秒間とする。

番号	項目	課題
I	声楽	自由曲を 1 曲，原語かつ暗譜で歌う（調は自由。B 類声楽課題曲〔別表 1〕から選んでもよい。コンコーネのような練習曲等は含まない）。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし，通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に 2 部提出すること（B 類の声楽課題曲から選ぶ場合も同じ）。なお，楽譜は 1 ページ A 4 の大きさとし，テープ等で製本しないこと。
	ピアノ	次の中から任意の 1 曲を選び，第 1 楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 ・ D.Scarlatti：ソナタ ニ短調 K.9 / L.413 ・ D.Scarlatti：ソナタ イ長調 K.113 / L.345 ・ J.Haydn：ソナタ ト長調 Hob.XVI：27 ・ J.Haydn：ソナタ ホ短調 Hob.XVI：34 ・ W.A.Mozart：ソナタ ト長調 KV283 ・ W.A.Mozart：ソナタ ヘ長調 KV332
II	声楽	I と同じ。
	ピアノ	I と同じ。
	管弦打楽器	フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ 上記の楽器から 1 つを選択（出願時に申告）し， <u>自由曲</u> を 1 曲演奏する。繰り返しは省略し，無伴奏で演奏する。 ※マリンバ選択者は自由曲のみを演奏し，小太鼓基礎奏法は課さない。

VI. 総合型選抜

(1-2) 適性検査（音楽実技）の内容（B類音楽コース対象）

専門分野Ⅰ～Ⅴ（声楽＝Ⅰ，ピアノ＝Ⅱ，管弦打楽器＝Ⅲ，作曲＝Ⅳ，音楽学＝Ⅴ）から1つを選択する（ <u>下線</u> は専門試験，それ以外は共通試験）。	
Ⅰ 新曲視唱， <u>声楽</u> ，ピアノ	Ⅱ 新曲視唱，声楽， <u>ピアノ</u>
Ⅲ 新曲視唱，声楽，ピアノ， <u>管弦打楽器</u>	Ⅳ 新曲視唱，声楽，ピアノ， <u>作曲</u>
Ⅴ 新曲視唱，声楽，ピアノ， <u>音楽学</u>	

詳細については以下のとおり。

- ① 希望する専門分野に応じて，下表のⅠ～Ⅴから1つを選択すること（出願時に登録）。
（声楽＝Ⅰ，ピアノ＝Ⅱ，管弦打楽器＝Ⅲ，作曲＝Ⅳ，音楽学＝Ⅴ）
- ② 選択した番号内の試験項目はすべて必須となる（例 Ⅰ選択者…新曲視唱，声楽，ピアノが必須）。
- ③ 楽譜の出版社は特に指定がない場合は不問とする。
- ④ 暗譜の指定がないものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。
- ⑤ 新曲視唱は8小節，予見30秒間とする。

番号	項目	課題
Ⅰ	声楽	1) 声楽課題曲7曲〔別表1〕のなかから3曲を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。 2) 声楽課題曲7曲〔別表1〕以外の自由曲1曲を，原語かつ暗譜で歌う（調は自由）。オペラ及びオラトリオのアリアについては原調とする。ただし，通常歌われている調に関してはその限りではない。自由曲の楽譜は出願時に2部提出すること。なお，楽譜は1ページA4の大きさとし，テープなどで製本しないこと。
	ピアノ	J.S.Bach：6つの小プレリュードBWV933～938，又はインヴェンションとシンフォニアBWV772～801より任意の1曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
Ⅱ	ピアノ	L.v.Beethoven：ピアノソナタ第1番～第18番より任意の1曲を選び，第1楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	声楽	声楽課題曲7曲〔別表1〕のなかから2曲を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。
Ⅲ	管弦打楽器	フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ 上記の楽器から1つを選択（出願時に申告）し， <u>自由曲</u> を1曲演奏する。繰り返しは省略し，無伴奏で演奏する。 ※マリンバ選択者は自由曲のみを演奏し，小太鼓基礎奏法は課さない。
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。
Ⅳ	作曲	1) 与えられた低音旋律及び高音旋律に4声体和声を作る（転調，転位音を含む）。試験時間は90分。 2) 自作品（自筆又はコンピュータによる浄書，コピー可）を出願時に提出すること。形式，演奏形態及び曲数は自由（提出作品についての面接試験を含む）。提出楽譜は返還しない。
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。
Ⅴ	音楽学	1) 小論文（80分） 2) 面接（口頭試験を含む）
	ピアノ	Ⅰと同じ。
	声楽	Ⅱと同じ。

VI. 総合型選抜

〔別表 1〕 B 類の音楽課題曲

① F.Gasparini	: Lasciar d'amarti	(ト短調, ヘ短調, ニ短調)
② F.Gasparini	: Caro laccio	(ヘ長調, 変ホ長調, 変ニ長調)
③ G.Paisiello	: Nel cor più non mi sento	(ト長調, ヘ長調, 変ホ長調)
④ L.v.Beethoven	: Ich liebe dich	(ト長調, ヘ長調, 変ホ長調)
⑤ F.Schubert	: An die Musik	(ニ長調, ハ長調)
⑥ 大中 寅二	: 椰子の実	(イ長調, ト長調)
⑦ 山田 耕筈	: かやの木山の	(ニ長調, ハ長調)

1) ①～③は、イタリア歌曲集 1 (全音楽譜出版社), イタリア古典声楽曲集 1 (教育芸術社), 古典イタリア歌曲集 (カワイ出版) を使用すること。

2) ⑥は、2 番までを演奏すること。

(2) 適性検査 (実技) の内容 (A 類美術コース・B 類美術コース対象)

【A 類美術コース】鉛筆による静物デッサン (2 時間)
【B 類美術コース】石膏デッサン (2 時間) [鉛筆又は木炭, 併用も可]

(3) 適性検査 (プレゼンテーション) の内容 (A 類ものづくり技術コース・B 類技術コース対象)

1. 適性検査は、5 分程度のプレゼンテーションを含めて実施する。
2. プレゼンテーションでは、ものづくりで利用されている技術による問題解決について、自分がこれまでに自主的に取り組んだ活動を発表する。この発表では、技術の仕組みや技術の活用に関わる科学的な原理と法則、問題解決の工夫等の内容を含むことが望ましい。また、この発表では、プレゼンテーションに際しての情報機器の活用能力も評価の対象となる。
3. 適性検査においては、ものづくりの問題解決で必要となる科学的基礎学力等も評価する。

当日準備するプレゼンテーション資料等の詳細

- ①発表スライドを PDF ファイル (※④参照) にした USB メモリを持参する。
- ②発表時間は 5 分程度とする。発表時間が長すぎる場合等、発表途中であっても終了するように試験監督から指示することがある。
- ③USB メモリはウイルスチェックを行うことがあるため、プレゼンテーションに必要なファイルは入れないこと。
- ④プレゼンテーションの際は本学が準備する以下の機器を使用する予定である。
 - ・ノートパソコン (Windows10 以上), マウス, 液晶プロジェクター, スクリーン, レーザーポインター 各 1
 - ・使用可能ソフトは Adobe Acrobat Reader (Windows 版を予定)
 - ・インターネットへの接続不可
- ⑤プレゼンテーション資料を A 3 サイズで片面カラー印刷したものを 1 部 (本人プレゼンテーション用) 持参する。機器トラブルが発生しノートパソコンでプレゼンテーションができない場合等、試験監督の指示により、これを用いてプレゼンテーションを行うことがある。
- ⑥プレゼンテーション資料を A 4 サイズで片面カラー印刷したものを 3 部 (試験監督用と予備) 持参する。この 3 部は面接終了までに試験監督側で集め返却しない。
- ⑦面接終了後、パソコンに接続したことにより USB メモリ上のデータに破損が生じた場合や USB メモリが破損した場合において本学はその責を負わない。
- ⑧その他、当日の発表方法については、試験監督の指示に従うこと。

8. 面接に含まれるプレゼンテーション

(注) 当日の持参を指示している資料について、郵送等による事前提出は一切認めない。なお、当日の提出後は、いかなる理由があっても返却しないので注意すること。

(1) A類美術コース・B類美術コース

面接は3分程度のプレゼンテーションを含んで実施する。プレゼンテーションは出願者が出願書類として提出した「活動報告書」に関する内容について、参考画像等を貼り付けたA2サイズのボードを当日に持参して行い、面接後にボードは提出する。

(2) B類保健体育コース

面接はプレゼンテーションを含んで実施する。プレゼンテーションのテーマは保健体育の授業に関する内容であり、面接時に提示する（プレゼンテーションのために志願者が試験当日に持参するものではありません）。

(3) B類家庭コース

面接はプレゼンテーションを含んで実施する。プレゼンテーションでは、自身が日常生活のなかから課題をみつけ、解決を目指して計画を立て、家庭科で学んだ知識や技術をいかして実践した内容について発表する。自身の取組が社会課題の解決にどのように貢献できるかについての考察も含むこと。プレゼンテーション資料はPC等を使用して作成しても良いが、A3またはA4サイズの資料1部（1ページ目〔表紙〕を含む枚数は5枚以内とする、1ページ目〔表紙〕にタイトルと受験番号を入れる）を持参し、それを用いたプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの時間は5分以内とし、終了後に資料を提出する。

(4) B類情報コース

面接は口頭試問とプレゼンテーションを含んで実施する。プレゼンテーションは、第二次選考で自身が作成した小論文の内容について、持参したPCやタブレット端末を用いてプロジェクターに投影しながら行う（5分程度）。プレゼンテーションの資料は、小論文の試験時間内に、持参したPCやタブレット端末を用いて、PowerPointのスライドなど受験者が普段学校等で使用しているアプリケーションで作成する。なお、オンラインでのWeb検索や生成AIなどを使つての作業は禁止し、オフラインの状態での作業のみとする。また、スライドを作成しているアプリケーション以外の使用や、事前に作成した成果物等の再利用は認めない。

当日持参するもの

・PCまたはタブレット端末

充電済みのもの（ACアダプターを持参するとよい）。HDMI type-A 端子のケーブルを用いて画面出力ができること（必要ならば変換アダプターを用意すること）。

・プレゼンテーション資料を作成するためのアプリケーション

持参するPCやタブレット端末にインストールされた状態であること。普段から使い慣れたアプリケーションが望ましい。オフラインでの作業が可能であること。

・小論文の試験の後、小休憩を挟み、個人面接を順次開始します。ご自分の面接の順番が来るまでの間、持参した軽食（飲み物を含む）をとっても構いません。

(5) E類生涯スポーツコース

面接はプレゼンテーションを含んで実施する。プレゼンテーションのテーマはスポーツにおける教育支援に関する内容であり、面接時に提示する（プレゼンテーションのために志願者が試験当日に持参するものではありません）。

VII. 帰国生選抜

1. 出願資格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外在留という事情により外国の学校教育を受けた者（保護者との同伴期間は1年以上とし、その後の単身滞在期間は2年以内の者）のうち、次の(1)から(5)のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育における12年の課程のうち、外国において最終を含む2年以上をその国の教育制度に基づく高等学校に継続して在籍し、2025年4月1日から2027年3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者、もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) 2025年4月1日から2027年3月31日までに日本の高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国においてその国の教育制度に基づく中学校から高等学校までの課程に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校又は中等教育学校後期課程の在籍期間は2年以内の者
- (3) 外国において、2025年4月1日から2027年3月31日までに次の資格のいずれかを取得した者
 - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - ④ 英国において大学入学資格として認められているGCEAレベル資格又は国際Aレベル資格
 - ⑤ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格
- (4) 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, NEASC, CIS, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程に、最終を含む2年以上継続して在籍し、2025年4月1日から2027年3月31日までに当該課程を修了又は修了見込みの者
- (5) 2025年4月1日から2027年3月31日までに日本の高等学校又は中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, NEASC, CIS, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校又は中等教育学校後期課程の在籍期間は2年以内の者

（注1）上記(1)及び(2)については、地理的に外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた期間に通算しません。

（注2）出願資格に疑問がある場合は、12月1日までに入試課に照会すること。照会方法の詳細は本学「学部入試情報サイト」内に掲載します。また、出願資格を確認する目的で大使館等に学歴に関する情報を提供することがあります。

（注3）文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は今後追加されることがあります。追加が生じた場合、学部入試情報サイトに掲載しますので、確認してください。

本学が求める英語力について

本学では、深い教養と基礎的技能を獲得することを目的とする教養科目を設けています。その中の語学領域で必修科目として開講している「英語コミュニケーション」（1年次Ⅰ・Ⅱ期開設）は、高等学校で英語を履修したことを前提として授業を行っています。

高等学校等で英語を履修していない場合、「英語コミュニケーション」を受講するまでに、日本の中学校3年間の英語教科書にある内容を基盤に、高等学校で学ぶ英語に準じる内容を学習しておく必要があります。

なお、本学では申請により、英検やTOEFL等のスコアに基づき「英語コミュニケーション」の単位を認定する制度を設けています。

2. 出願期間

令和8(2026)年12月15日（火）から同年12月17日（木）まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、12月16日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）の全て及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等

(1) 試験期日 …… 令和9(2027)年2月25日(木)・2月26日(金)

(2) 試験日及び実施方法

課程	類・コース (PG:プログラム)	試験日	実施方法 (注1)				摘要
			個別テスト等	小論文	実技検査	面接 (注2)	
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	A 類 社 会 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	A 類 数 学 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	A 類 理 科 コ ー ス	2月25日(木)	◎2	◎	—	◎	
	A 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。
	A 類 美 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	◎	◎	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。
		2月26日(金)	—	◎	—		
	A 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	A 類 英 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	A 類 現 代 教 育 実 践 コ ー ス	学校教育PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
		学校心理PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
		国際教育PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
		環境教育PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	(注3)
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	面接には幼児教育課題(記述)を含み、面接における口頭試問で用いる。
	B 類 国 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	B 類 社 会 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	B 類 数 学 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	B 類 理 科 コ ー ス	2月25日(木)	◎2	◎	—	◎	
	B 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。
		2月26日(金)	—	◎			
	B 類 美 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	◎	◎	
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。
		2月26日(金)	—	◎	—		
	B 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	B 類 技 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	(注3)
	B 類 英 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	B 類 書 道 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	◎	◎	
	B 類 情 報 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	C 類	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	D 類 養 護 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	

(次ページへ続く)

Ⅶ. 帰国生選抜

課程	類・コース	試験日	実施方法（注１）				摘要
			個別テスト等	小論文	実技検査	面接（注２）	
教育支援課程	E類生涯学習・文化遺産教育コース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E類カウンセリングコース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E類ソーシャルワークコース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E類多文化共生教育コース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E類情報教育コース	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	E類表現教育コース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E類生涯スポーツコース	2月26日(金)	◎	◎	—	◎	面接の日程は別途通知する。 個別テスト等は「書類」を示す。

（注１）◎印は受験が必須であることを，—印は受験を要しないことを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す（記載のないものは1教科又は1科目を課すことを示す）。

（注２）志願者全員に日本語による個人面接を課す。ただし，A類英語コース・B類英語コースは英語による面接を含む。

（注３）面接には口頭試問を含む。また，作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。

(3) 教科・科目に係る個別テスト等の詳細

対象の類・コース	個別テストの教科・科目等		必須又は 必要科目数	摘要	試験時間 (予定)						
	出題教科	出題科目（範囲）									
A類国語コース B類国語コース B類書道コース	国語	現代の国語 言語文化 論理国語 文学国語 国語表現 古典探究	必須		120 分						
A類数学コース B類数学コース B類情報コース E類情報教育コース	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学C	必須	『数学A』は、図形の性質、場合の 数と確率 『数学B』は、数列、統計的な推測 『数学C』は、ベクトル、平面上の 曲線と複素数平面	120 分						
A類理科コース	理科	<table><tr><td>(a)</td><td>物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎</td><td rowspan="2">} 1</td></tr><tr><td>(b)</td><td>物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学</td><td rowspan="2">} 1</td></tr></table>	(a)	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	} 1	(b)	物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学	} 1	計 2	(a)・(b)各欄から 1 科目ずつの計 2 科目を選択する。 ただし、(a)－(b)間において同一名 称を含む科目の選択は不可。 (例えば『物理基礎』と『物理基礎、 物理』の組み合わせは不可。)	120 分 (2 科目計)
(a)	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	} 1									
(b)	物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学		} 1								
B類理科コース	理科	物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学		2 科目		120 分 (2 科目計)					
A類英語コース B類英語コース	外国語 (英語)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ (ディクテーションを含む)	必須	試験時間のうち、筆記試験が 90 分、 ディクテーションが約 10 分。	約 120 分						
E類生涯スポーツコース	書類		必須	出願時に提出される書類を点数化 する。書類の内容は志望理由、活動 報告、活動報告に記された内容の 証明書等とする。							

5. 小論文の概要

(1) **A類国語コース・B類国語コース**

国語に関する課題を提示し、理解力・表現力等を評価する。

(2) **A類社会コース・B類社会コース**

社会現象に関する課題等を提示し、それについて論述させる。読解力・論理的思考力・構成力・表現力等、基礎的な能力を総合的に評価する。

(3) **A類数学コース・B類数学コース**

数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(4) **A類理科コース・B類理科コース**

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲及び主体的に学習に取り組む態度等を評価する。

(5) **A類音楽コース・B類音楽コース**

音楽と音楽教育に関する課題を提示して論述させ、理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価する。

(6) **A類美術コース・B類美術コース**

美術文化とのかかわりに関する課題を提示して論述させ、思考力・洞察力・表現力等を評価する。

(7) **A類保健体育コース・B類保健体育コース**

保健体育に関する課題を提示して論述させ、洞察力、論理的な思考力、日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

(8) **A類家庭コース・B類家庭コース**

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) **A類英語コース・B類英語コース**

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させ、理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能、思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) **A類現代教育実践コース（学校教育プログラム）**

学校内外の教育に関する諸問題について、その理解力・分析力・表現力等を総合的に評価する。

(11) **A類現代教育実践コース（学校心理プログラム）**

学校内外の諸問題について論述させ、教師への意欲・適性及び論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

(12) **A類現代教育実践コース（国際教育プログラム）**

国際教育に関する諸問題について、その理解力・論理構成力・発想力等を総合的に評価する。

(13) **A類現代教育実践コース（環境教育プログラム）**

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

Ⅶ. 帰国生選抜

(14) A類ものづくり技術コース・B類技術コース

ものづくり・技術・科学・それらに関連する教育についての課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を評価する。

(15) A類幼児教育コース

幼児の発達や教育に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・文章構成力・表現力等を評価する。

(16) B類書道コース

書写・書道教育に関する理論や実践等についての基礎的事項の理解力・思考力及び書字力を評価する。

(17) B類情報コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

(18) C類

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(19) D類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(20) E類生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

(21) E類カウンセリングコース

学校内外の諸問題について論述させ、論理構成力・表現力などを総合的に評価する。

(22) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

(23) E類多文化共生教育コース

異文化理解や多文化共生に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

(24) E類情報教育コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

(25) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的な知識・理解力・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(26) E類生涯スポーツコース

生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

6. 実技試験等の内容

実技試験を課す類・コース及び試験科目名称は以下のとおりです。選択問題，選択課題及び選択する管弦打楽器は希望するものを出願時に登録すること。出願後及び試験場での変更は認めません。

対象の類・コース	科目名称	備考	試験の内容
A類美術コース	図工・美術実技	選択問題。	一般選抜の内容と同じ。 → 20 ページを参照してください。
B類美術コース	美術実技	選択問題。	
A類保健体育コース B類保健体育コース	体育実技 (基礎運動技能テスト)	複数の基礎的な運動 の出来映えを評価。	一般選抜の内容と同じ。 → 21 ページを参照してください。
B類書道コース	書道実技	必須。	
A類音楽コース B類音楽コース	共通試験 ----- 音楽実技	必須。 ----- 実技課題を選択。	一般選抜前期日程の内容と同じ。 → 22～24 ページを参照してください。

Ⅶ. 帰国生選抜

7. 配点一覧表

課程	類・コース（PG：プログラム）		配点（注1）			
			個別テスト等 （注2）	小論文	実技検査	面接 （注3）
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス		100	100	—	100
	A 類 社 会 コ ー ス		—	200	—	100
	A 類 数 学 コ ー ス		100	100	—	100
	A 類 理 科 コ ー ス		*200	100	—	100
	A 類 音 楽 コ ー ス		—	100	*300	100
	A 類 美 術 コ ー ス		—	100	100	100
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス		—	100	100	100
	A 類 家 庭 コ ー ス		—	200	—	100
	A 類 英 語 コ ー ス		100	100	—	100
	A 類現代教育実践コース	学 校 教 育 P G	—	200	—	100
		学 校 心 理 P G	—	200	—	100
		国 際 教 育 P G	—	200	—	100
		環 境 教 育 P G	—	200	—	100
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス		—	200	—	100
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス		—	100	—	200
	B 類 国 語 コ ー ス		100	100	—	100
	B 類 社 会 コ ー ス		—	200	—	100
	B 類 数 学 コ ー ス		100	100	—	100
	B 類 理 科 コ ー ス		*200	100	—	100
	B 類 音 楽 コ ー ス		—	100	*300	100
	B 類 美 術 コ ー ス		—	100	200	100
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス		—	100	100	100
	B 類 家 庭 コ ー ス		—	200	—	100
	B 類 技 術 コ ー ス		—	200	—	100
	B 類 英 語 コ ー ス		100	100	—	100
	B 類 書 道 コ ー ス		100	100	100	100
	B 類 情 報 コ ー ス		100	100	—	100
	C 類		—	200	—	100
	D 類 養 護 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
教育支援課程	E 類 生 涯 学 習 ・ 文 化 遺 産 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 カ ウ ン セ リ ン グ コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 多 文 化 共 生 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 情 報 教 育 コ ー ス		100	100	—	100
	E 類 表 現 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス		100	100	—	100

（注1）*印は、複数科目の合計配点を示す。

（注2）E類生涯スポーツコースの個別テスト等は、「書類」の配点を示す。

（注3）A類幼児教育コースの面接は、「面接（幼児教育課題を含む）」の配点を示す。

Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

1. 出願資格

外国の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者は除く）で、かつ、次の(1)及び(2)の要件を満たす者

(1) 次の①から③のいずれかに該当する者

- ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 外国において、2027 年 3 月 31 日までに次の資格のいずれかを取得した者
 - ㊦ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ㊧ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ㊨ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - ㊩ 英国において大学入学資格として認められている GCEA レベル資格又は国際 A レベル資格
 - ㊪ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格
- ③ 外国において、2027 年 3 月 31 日までに文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACSI, NEASC, CIS, Cognia, COBIS) から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了又は修了見込みの者

(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する 2025 年度又は 2026 年度の「日本留学試験（E J U）」を受験し、1 回の受験で次の①及び②の基準を満たす者

- ① 日本語の成績（「読解」、「聴解・聴読解」）が 200 点以上
- ② 「理科及び数学の成績の合計」又は「総合科目及び数学の成績の合計」が 200 点以上

1. 日本留学試験で受験を要する科目等
 - ① 日本語
 - ② 理科又は総合科目のどちらか（理科は物理・化学・生物から 2 科目を受験すること。）
 - ③ 数学（コース 1・コース 2 のどちらかを受験すること。）
 2. 「日本語」以外の科目については、出題言語を問わない（日本語・英語のどちらでもよい）。
 3. 2025 年度及び 2026 年度に実施される計 4 回の試験のいずれか 1 回の成績のみを利用する（複数の受験回の成績を組み合わせることはできない）ので、利用対象となる試験を複数回受験した場合は、志願者本人が利用してほしい 1 つの受験回を選択のうえ出願すること。
 4. 日本留学試験の詳細等はウェブサイトを参照すること。《<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/index.html>》

（注 1）「外国において、学校教育における 12 年の課程を修了」とは、地理的に外国に設置された学校において、原則として当該国における正規の教育制度に位置付けられている教育課程の 12 年目を修了することを言います。

（注 2）出願資格に疑問がある場合は、12 月 1 日までに入試課に照会すること。照会方法の詳細は本学「学部入試情報サイト」内に掲載します。また、出願資格を確認する目的で大使館等に学歴に関する情報を提供することがあります。

（注 3）文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は今後追加されることがあります。追加が生じた場合、学部入試情報サイトに掲載しますので、確認してください。

本学が求める英語力について

本学では、深い教養と基礎的技能を獲得することを目的とする教養科目を設けています。その中の語学領域で必修科目として開講している「英語コミュニケーション」（1 年次 I・II 期開設）は、高等学校で英語を履修したことを前提として授業を行っています。

高等学校等で英語を履修していない場合、「英語コミュニケーション」を受講するまでに、日本の中学校 3 年間の英語教科書にある内容を基盤に、高等学校で学ぶ英語に準じる内容を学習しておく必要があります。

なお、本学では申請により、英検や TOEFL 等のスコアに基づき「英語コミュニケーション」の単位を認定する制度を設けています。

2. 出願期間

令和 8 (2026) 年 12 月 15 日（火）から同年 12 月 17 日（木）まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、12 月 16 日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）の全て及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」及び「教師又は教育支援人材への意欲・適性」を評価します。

4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等

(1) 試験期日 …… 令和9(2027)年2月25日(木)・2月26日(金)

(2) 試験日及び実施方法

課程	類・コース（PG：プログラム）	試験日	実施方法（注1）				概要
			個別テスト等	小論文	実技検査	面接（注2）	
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	A 類 社 会 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	A 類 数 学 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	A 類 理 科 コ ー ス	2月25日(木)	◎2	◎	—	◎	
	A 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。
	A 類 美 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	◎	◎	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。
		2月26日(金)	—	◎	—		
	A 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	A 類 英 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	A 類 現 代 教 育 実 践 コ ー ス	学校教育 PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
		学校心理 PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
		国際教育 PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
		環境教育 PG	2月25日(木)	—	◎	—	◎
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	（注3）
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	面接には幼児教育課題（記述）を含み、面接における口頭試験で用いる。
	B 類 国 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	B 類 社 会 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	B 類 数 学 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	B 類 理 科 コ ー ス	2月25日(木)	◎2	◎	—	◎	
	B 類 音 楽 コ ー ス	2月25日(木) 2月26日(金)	—	◎	◎2	◎	日程の詳細は別途通知する。
	B 類 美 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	◎	◎	
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	—	◎	◎	面接の日程は別途通知する。
		2月26日(金)	—	◎	—		
	B 類 家 庭 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	B 類 技 術 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	（注3）
	B 類 英 語 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	B 類 書 道 コ ー ス	2月25日(木)	◎	—	◎	◎	
	B 類 情 報 コ ー ス	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	C 類	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	D 類 養 護 教 育 コ ー ス	2月25日(木)	—	◎	—	◎	

（次ページへ続く）

Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

課程	類・コース	試験日	実施方法（注１）				摘要
			個別テスト等	小論文	実技検査	面接（注２）	
教育支援課程	E 類生涯学習・文化遺産教育コース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E 類カウンセリングコース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E 類ソーシャルワークコース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E 類多文化共生教育コース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E 類情報教育コース	2月25日(木)	◎	◎	—	◎	
	E 類表現教育コース	2月25日(木)	—	◎	—	◎	
	E 類生涯スポーツコース	2月26日(金)	◎	◎	—	◎	面接の日程は別途通知する。 個別テスト等は「書類」を示す。

（注１）◎印は受験が必須であることを，—印は受験を要しないことを表す。◎印に付された数字は課す科目数を示す（記載のないものは1教科又は1科目を課すことを示す）。

（注２）志願者全員に日本語による個人面接を課す。ただし，A 類英語コース・B 類英語コースは英語による面接を含む。

（注３）面接には口頭試問を含む。また，作品やそれを提示するための資料等の持ち込みを不可とする。

(3) 教科・科目に係る個別テスト等の詳細

対象の類・コース	個別テスト等の教科・科目等		必須又は 必要科目数	摘要	試験時間 (予定)						
	出題教科	出題科目（範囲）									
A 類国語コース B 類国語コース B 類書道コース	国語	現代の国語 言語文化 論理国語 文学国語 国語表現 古典探究	必須		120 分						
A 類数学コース B 類数学コース B 類情報コース E 類情報教育コース	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学C	必須	『数学A』は、図形の性質、場合の数と確率 『数学B』は、数列、統計的な推測 『数学C』は、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面	120 分						
A 類理科コース	理科	<table><tr><td>(a)</td><td>物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎</td><td rowspan="2">} 1 計 2</td></tr><tr><td>(b)</td><td>物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学</td><td>} 1</td></tr></table>	(a)	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	} 1 計 2	(b)	物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学	} 1		(a)・(b)各欄から1科目ずつの計2科目を選択する。 ただし、(a)～(b)間において同一名称を含む科目の選択は不可。 (例えば『物理基礎』と『物理基礎、物理』の組み合わせは不可。)	120 分 (2科目計)
(a)	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	} 1 計 2									
(b)	物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学		} 1								
B 類理科コース	理科	物理基礎、物理 化学基礎、化学 生物基礎、生物 地学基礎、地学	2 科目		120 分 (2科目計)						
A 類英語コース B 類英語コース	外国語 (英語)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ (ディクテーションを含む)	必須	試験時間のうち、筆記試験が90分、 ディクテーションが約10分。	約120分						
E 類生涯スポーツコース	書類		必須	出願時に提出される書類を点数化する。書類の内容は志望理由、活動報告、活動報告に記された内容の証明書等とする。							

5. 小論文の概要

(1) **A類国語コース・B類国語コース**

国語に関する課題を提示し、理解力・表現力等を評価する。

(2) **A類社会コース・B類社会コース**

社会現象に関する課題等を提示し、それについて論述させる。読解力・論理的思考力・構成力・表現力等、基礎的な能力を総合的に評価する。

(3) **A類数学コース・B類数学コース**

数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(4) **A類理科コース・B類理科コース**

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教師への意欲及び主体的に学習に取り組む態度等を評価する。

(5) **A類音楽コース・B類音楽コース**

音楽と音楽教育に関する課題を提示して論述させ、理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価する。

(6) **A類美術コース・B類美術コース**

美術文化とのかかわりに関する課題を提示して論述させ、思考力・洞察力・表現力等を評価する。

(7) **A類保健体育コース・B類保健体育コース**

保健体育に関する課題を提示して論述させ、洞察力、論理的な思考力、日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

(8) **A類家庭コース・B類家庭コース**

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) **A類英語コース・B類英語コース**

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させ、理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能、思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) **A類現代教育実践コース（学校教育プログラム）**

学校内外の教育に関する諸問題について、その理解力・分析力・表現力等を総合的に評価する。

(11) **A類現代教育実践コース（学校心理プログラム）**

学校内外の諸問題について論述させ、教師への意欲・適性及び論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

(12) **A類現代教育実践コース（国際教育プログラム）**

国際教育に関する諸問題について、その理解力・論理構成力・発想力等を総合的に評価する。

(13) **A類現代教育実践コース（環境教育プログラム）**

アドミッション・ポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(14) A類ものづくり技術コース・B類技術コース

ものづくり・技術・科学・それらに関連する教育についての課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を評価する。

(15) A類幼児教育コース

幼児の発達や教育に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・文章構成力・表現力等を評価する。

(16) B類情報コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

(17) C類

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、論理構成力、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(18) D類養護教育コース

社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教師への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(19) E類生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

(20) E類カウンセリングコース

学校内外の諸問題について論述させ、論理構成力・表現力などを総合的に評価する。

(21) E類ソーシャルワークコース

社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

(22) E類多文化共生教育コース

異文化理解や多文化共生に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。

(23) E類情報教育コース

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

(24) E類表現教育コース

芸術作品の表現に関する基礎的な知識・理解力・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッション・ポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(25) E類生涯スポーツコース

生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

6. 実技試験等の内容

実技試験を課す類・コース及び試験科目名称は以下のとおりです。選択問題，選択課題及び選択する管弦打楽器は希望するものを出願時に登録すること。出願後及び試験場での変更は認めません。

対象の類・コース	科目名称	備考	試験の内容
A類美術コース	図工・美術実技	選択問題。	一般選抜の内容と同じ。 → 20 ページを参照してください。
B類美術コース	美術実技	選択問題。	
A類保健体育コース B類保健体育コース	体育実技 (基礎運動技能テスト)	複数の基礎的な運動 の出来映えを評価。	一般選抜の内容と同じ。 → 21 ページを参照してください。
B類書道コース	書道実技	必須。	
A類音楽コース B類音楽コース	共通試験 ----- 音楽実技	必須。 ----- 実技課題を選択。	一般選抜前期日程の内容と同じ。 →22～24 ページを参照してください。

Ⅷ. 私費外国人留学生選抜

7. 配点一覧表

課程	類・コース（PG：プログラム）		配点（注1）			
			個別テスト等 （注2）	小論文	実技検査	面接 （注3）
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス		100	100	—	100
	A 類 社 会 コ ー ス		—	200	—	100
	A 類 数 学 コ ー ス		100	100	—	100
	A 類 理 科 コ ー ス		*200	100	—	100
	A 類 音 楽 コ ー ス		—	100	*300	100
	A 類 美 術 コ ー ス		—	100	100	100
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス		—	100	100	100
	A 類 家 庭 コ ー ス		—	200	—	100
	A 類 英 語 コ ー ス		100	100	—	100
	A 類現代教育実践コース	学 校 教 育 P G	—	200	—	100
		学 校 心 理 P G	—	200	—	100
		国 際 教 育 P G	—	200	—	100
		環 境 教 育 P G	—	200	—	100
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス		—	200	—	100
	A 類 幼 児 教 育 コ ー ス		—	100	—	200
	B 類 国 語 コ ー ス		100	100	—	100
	B 類 社 会 コ ー ス		—	200	—	100
	B 類 数 学 コ ー ス		100	100	—	100
	B 類 理 科 コ ー ス		*200	100	—	100
	B 類 音 楽 コ ー ス		—	100	*300	100
	B 類 美 術 コ ー ス		—	100	200	100
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス		—	100	100	100
	B 類 家 庭 コ ー ス		—	200	—	100
	B 類 技 術 コ ー ス		—	200	—	100
	B 類 英 語 コ ー ス		100	100	—	100
	B 類 書 道 コ ー ス		100	—	100	100
	B 類 情 報 コ ー ス		100	100	—	100
	C 類		—	200	—	100
	D 類 養 護 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
教育支援課程	E 類 生 涯 学 習 ・ 文 化 遺 産 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 カ ウ ン セ リ ン グ コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 多 文 化 共 生 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 情 報 教 育 コ ー ス		100	100	—	100
	E 類 表 現 教 育 コ ー ス		—	200	—	100
	E 類 生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス		100	100	—	100

（注1）＊印は、複数科目の合計配点を示す。

（注2）E類生涯スポーツコースの個別テスト等は、「書類」の配点を示す。

（注3）A類幼児教育コースの面接は、「面接（幼児教育課題を含む）」の配点を示す。

IX. 国際バカロレア選抜

国際バカロレアのプログラムは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりに富んだ人材の育成を目的としています。東京学芸大学では、この国際バカロレア資格を取得した者は、次世代を支える人材養成を行う教師又は教育支援人材として卓越した適性を有すると考え、国際バカロレア資格を取得した者を対象とする選抜を行います。

1. 出願資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (International Baccalaureate Diploma) を取得した者又は令和9(2027)年3月31日までに取得見込みの者
ただし、取得見込みで出願し合格した者が令和9年3月31日までに資格取得ができない場合は、合格を取り消す。
- (2) 日本語を母語とする者又は国際バカロレア資格の取得において日本語A (S L)・日本語A (H L)・日本語B (H L) のいずれかを履修している者

2. 出願期間

令和8(2026)年10月1日(木)から同年10月7日(水)まで〔書留速達郵便・期間内必着〕

ただし、出願期間後に到着した場合は、10月5日以前の発信局消印があり、かつ書留速達郵便により送付されたものに限り受理します。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定します。

4. 東京学芸大学入学試験の試験期日、出題教科・科目等及び配点

(1) 試験期日

令和8(2026)年11月19日(木)

【A類保健体育コース・B類保健体育コース・E類生涯スポーツコースを除く全てのコース】

令和8(2026)年11月20日(金)

【A類保健体育コース・B類保健体育コース・E類生涯スポーツコース】

(2) 出題教科・科目等及び配点(出題教科・科目等は全て必須, 100点満点)

課程	類・コース(PG:プログラム)	出題教科・科目等	配点	摘要
学校教育教員養成課程	A 類 国 語 コ ー ス	面接試験	100	
	A 類 社 会 コ ー ス	面接試験	100	
	A 類 数 学 コ ー ス	面接試験	100	
	A 類 理 科 コ ー ス	面接試験	100	
	A 類 美 術 コ ー ス	面接試験	100	
	A 類 保 健 体 育 コ ー ス	面接試験	100	
	A 類 家 庭 コ ー ス	面接試験	100	
	A 類 英 語 コ ー ス	面接試験	100	一部英語によるものを含む。
	A類現代教育実践コース	学校教育PG	100	
		学校心理PG	100	
		国際教育PG	100	
	A 類 も の づ く り 技 術 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 国 語 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 社 会 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 数 学 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 理 科 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 美 術 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 保 健 体 育 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 家 庭 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 技 術 コ ー ス	面接試験	100	
	B 類 英 語 コ ー ス	面接試験	100	一部英語によるものを含む。
	B 類 情 報 コ ー ス	面接試験	100	
	C 類	面接試験	100	
教育支援課程	E 類 生涯学習・文化遺産教育コース	面接試験	100	
	E 類 カウンセリングコース	面接試験	100	
	E 類 多文化共生教育コース	面接試験	100	
	E 類 情報教育コース	面接試験	100	
	E 類 生涯スポーツコース	面接試験	100	

東京学芸大学教育学部

令和8(2026)年度 入試結果情報

令和8年度以前については本学「学部入試情報サイト」に掲載しています。

令和 8 年度入学者選抜における追試験について

本学の令和 8 年度一般選抜（前期日程・後期日程），学校推薦型選抜，総合型選抜，国際バカロレア選抜，帰国生選抜，私費外国人留学生選抜について，追試験は実施していません。

1. 選抜経過表

令和8年度 教育学部入学者選抜試験（一般選抜）

課程	類	コース・プログラム	募集 人員	日程	日程 別 募集 人員	志願者数			志願 倍率	受験者数			合格者数			入学手続者数			追加合格者 数			追加入学手 続者数			合格者数合計			入学手続者数 合計			入学者数		
						男	女			男	女		a	男	女	b	男	女	c	男	女	d	男	女	a+c	男	女	b+d	男	女		男	女
学校教育教員養成課程	A類	国語	60	前	50	86	34	52	1.7	85	34	51	54	23	31	50	23	27							54	23	31	50	23	27	50	23	27
		後	10	77	29	48	7.7	22	9	13	12	4	8	12	4	8								12	4	8	12	4	8	12	4	8	
		社会	70	前	50	102	64	38	2.0	101	64	37	53	32	21	52	31	21							53	32	21	52	31	21	52	31	21
		後	20	129	73	56	6.5	51	28	23	23	7	16	19	6	13								23	7	16	19	6	13	19	6	13	
		数学	65	前	50	108	72	36	2.2	107	71	36	53	35	18	51	34	17							53	35	18	51	34	17	51	34	17
		後	15	85	47	38	5.7	31	18	13	16	10	6	14	8	6								16	10	6	14	8	6	14	8	6	
		理科	70	前	60	117	62	55	2.0	114	60	54	63	37	26	62	37	25							63	37	26	62	37	25	62	37	25
		後	10	70	39	31	7.0	22	9	13	10	5	5	9	4	5								10	5	5	9	4	5	9	4	5	
		音楽	20	前	15	21	3	18	1.4	21	3	18	16	2	14	16	2	14							16	2	14	16	2	14	16	2	14
		後	5	22	7	15	4.4	6	2	4	6	2	4	6	2	4								6	2	4	6	2	4	6	2	4	
		美術	15	前	15	25	7	18	1.7	24	7	17	17	5	12	17	5	12							17	5	12	17	5	12	17	5	12
		保健体育	30	前	30	65	38	27	2.2	63	36	27	32	15	17	30	14	16							32	15	17	30	14	16	30	14	16
		家庭	12	前	12	21	3	18	1.8	21	3	18	14	2	12	12	2	10							14	2	12	12	2	10	12	2	10
		英語	8	前	8	5	1	4	0.6	5	1	4	5	1	4	4	0	4							5	1	4	4	0	4	4	0	4
		現代教育実践・ 学校教育	20	前	15	24	6	18	1.6	24	6	18	17	4	13	16	3	13							17	4	13	16	3	13	16	3	13
		後	5	45	12	33	9.0	12	2	10	5	1	4	4	1	3								5	1	4	4	1	3	4	1	3	
		現代教育実践・ 学校心理	15	前	15	20	5	15	1.3	20	5	15	17	3	14	17	3	14							17	3	14	17	3	14	17	3	14
		現代教育実践・ 国際教育	12	前	12	32	11	21	2.7	31	10	21	14	5	9	14	5	9							14	5	9	14	5	9	14	5	9
		現代教育実践・ 環境教育	17	前	17	54	31	23	3.2	54	31	23	19	13	6	17	11	6							19	13	6	17	11	6	17	11	6
	ものづくり技術	7	前	7	21	12	9	3.0	21	12	9	9	6	3	9	6	3							9	6	3	9	6	3	9	6	3	
	幼児教育	16	前	16	27	4	23	1.7	26	4	22	18	3	15	18	3	15							18	3	15	18	3	15	18	3	15	
A類 計		437	前	372	728	353	375	2.0	717	347	370	401	186	215	385	179	206	0	0	0	0	0	0	401	186	215	385	179	206	385	179	206	
			後	65	428	207	221	6.6	144	68	76	72	29	43	64	25	39	0	0	0	0	0	0	72	29	43	64	25	39	64	25	39	
B類	国語	15	前	15	36	15	21	2.4	36	15	21	17	8	9	16	8	8							17	8	9	16	8	8	16	8	8	
	社会	25	前	20	34	28	6	1.7	34	28	6	23	21	2	23	21	2							23	21	2	23	21	2	23	21	2	
	後	5	50	38	12	10.0	16	12	4	5	3	2	5	3	2								5	3	2	5	3	2	5	3	2		
	数学	25	前	20	68	56	12	3.4	68	56	12	22	20	2	22	20	2							22	20	2	22	20	2	22	20	2	
	後	5	38	29	9	7.6	15	10	5	5	3	2	3	2	1								5	3	2	3	2	1	3	2	1		
	理科	40	前	35	46	29	17	1.3	45	28	17	37	27	10	36	26	10							37	27	10	36	26	10	36	26	10	
	後	5	61	40	21	12.2	18	11	7	5	3	2	5	3	2								5	3	2	5	3	2	5	3	2		
	音楽	15	前	15	28	6	22	1.9	27	6	21	17	4	13	17	4	13							17	4	13	17	4	13	17	4	13	
	美術	12	前	12	25	6	19	2.1	24	6	18	14	4	10	13	3	10							14	4	10	13	3	10	13	3	10	
	保健体育	12	前	12	20	15	5	1.7	20	15	5	14	10	4	12	8	4							14	10	4	12	8	4	12	8	4	
	家庭	8	前	8	11	3	8	1.4	11	3	8	10	3	7	10	3	7							10	3	7	10	3	7	10	3	7	
	技術	7	前	7	19	13	6	2.7	19	13	6	10	7	3	10	7	3							10	7	3	10	7	3	10	7	3	
	英語	8	前	8	22	6	16	2.8	20	6	14	9	3	6	8	2	6							9	3	6	8	2	6	8	2	6	
	書道	16	前	16	26	6	20	1.6	26	6	20	18	3	15	18	3	15							18	3	15	18	3	15	18	3	15	
	情報	15	前	15	36	23	13	2.4	35	22	13	17	12	5	17	12	5							17	12	5	17	12	5	17	12	5	
B類 計		198	前	183	371	206	165	2.0	365	204	161	208	122	86	202	117	85	0	0	0	0	0	0	208	122	86	202	117	85	202	117	85	
			後	15	149	107	42	9.9	49	33	16	15	9	6	13	8	5	0	0	0	0	0	0	15	9	6	13	8	5	13	8	5	
C類(計)		32	前	32	43	7	36	1.3	43	7	36	34	4	30	34	4	30							34	4	30	34	4	30	34	4	30	
D類養護教育(計)		6	前	6	6	0	6	1.0	6	0	6	4	0	4	4	0	4							4	0	4	4	0	4	4	0	4	
学校教育教員 養成課程 合計			673	前	593	1148	566	582	1.9	1131	558	573	647	312	335	625	300	325	0	0	0	0	0	0	647	312	335	625	300	325	625	300	325
				後	80	577	314	263	7.2	193	101	92	87	38	49	77	33	44	0	0	0	0	0	0	87	38	49	77	33	44	77	33	44
			計	673	1725	880	845	2.6	1324	659	665	734	350	384	702	333	369	0	0	0	0	0	0	0	734	350	384	702	333	369	702	333	369

令和8年度 教育学部入学者選抜試験（一般選抜）

課程	類	コース・プログラム	募集人員	日程	日程別募集人員	志願者数			志願倍率	受験者数			合格者数			入学手続者数			追加合格者数			追加入学手続者数			合格者数合計			入学手続者数合計			入学者数		
						男	女	a		男	女	b	男	女	c	男	女	d	男	女	a+c	男	女	b+d	男	女	男	女					
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育	35	前	30	76	27	49	2.5	72	26	46	33	9	24	31	8	23							33	9	24	31	8	23	31	8	23
				後	5	57	14	43	11.4	21	8	13	6	0	6	5	0	5							6	0	6	5	0	5	4	0	4
		カウンセリング	13	前	13	22	3	19	1.7	21	3	18	16	2	14	16	2	14							16	2	14	16	2	14	16	2	14
		ソーシャルワーク	18	前	18	21	5	16	1.2	21	5	16	18	4	14	17	4	13	1	0	1	1	0	1	19	4	15	18	4	14	18	4	14
		多文化共生教育	40	前	30	35	10	25	1.2	33	8	25	33	8	25	30	8	22							33	8	25	30	8	22	30	8	22
				後	10	89	38	51	8.9	18	13	5	12	9	3	10	7	3							12	9	3	10	7	3	10	7	3
		情報教育	15	前	10	21	11	10	2.1	21	11	10	12	5	7	11	5	6							12	5	7	11	5	6	11	5	6
				後	5	24	15	9	4.8	7	4	3	5	2	3	5	2	3							5	2	3	5	2	3	5	2	3
		表現教育	15	前	15	26	6	20	1.7	24	6	18	17	3	14	16	3	13							17	3	14	16	3	13	16	3	13
		生涯スポーツ	18	前	18	41	23	18	2.3	41	23	18	20	8	12	17	8	9							20	8	12	17	8	9	17	8	9
	E類 計	154	前	134	242	85	157	1.8	233	82	151	149	39	110	138	38	100	1	0	1	1	0	1	150	39	111	139	38	101	139	38	101	
			後	20	170	67	103	8.5	46	25	21	23	11	12	20	9	11	0	0	0	0	0	0	23	11	12	20	9	11	19	9	10	
教育支援課程 合計			154	前	134	242	85	157	1.8	233	82	151	149	39	110	138	38	100	1	0	1	1	0	1	150	39	111	139	38	101	139	38	101
			154	後	20	170	67	103	8.5	46	25	21	23	11	12	20	9	11	0	0	0	0	0	0	23	11	12	20	9	11	19	9	10
			154	計	154	412	152	260	2.7	279	107	172	172	50	122	158	47	111	1	0	1	1	0	1	173	50	123	159	47	112	158	47	111
総 合 計		827	前	727	1390	651	739	1.9	1364	640	724	796	351	445	763	338	425	1	0	1	1	0	1	797	351	446	764	338	426	764	338	426	
			後	100	747	381	366	7.5	239	126	113	110	49	61	97	42	55	0	0	0	0	0	0	110	49	61	97	42	55	96	42	54	
				827	2137	1032	1105	2.6	1603	766	837	906	400	506	860	380	480	1	0	1	1	0	1	907	400	507	861	380	481	860	380	480	

- 課程、専攻(類)、コース・プログラム別の特別事項
- (1) 前期日程において第2志望を認めるコース
A類家庭コースとB類家庭コース、A類ものづくり技術コースとB類技術コース
- (2) 後期日程において第2志望を認めるコース
A類社会コースとB類社会コース、A類数学コースとB類数学コース、A類理科コースとB類理科コース

令和8年度 教育学部入学者選抜試験（国費留学生）

実施なし

令和8年度 教育学部入学者選抜試験（特別選抜）

課程	類	コース・プログラム	学校推薦型選抜												総合型選抜														
			募集人員	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		募集人員	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数										
				男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女									
学校教育教員養成課程	A類	国語	20	46	9	37	46	9	37	20	5	15	20	5	15														
		社会																											
		数学																											
		理科	15	32	12	20	32	12	20	15	4	11	15	4	11														
		音楽														5	17	3	14	17	3	14	5	2	3	5	2	3	
		美術	7	15	2	13	15	2	13	8	0	8	8	0	8	3	7	1	6	7	1	6	3	0	3	3	0	3	
		保健体育	10	28	14	14	28	14	14	10	3	7	10	3	7														
		家庭	3	9	1	8	9	1	8	3	0	3	3	0	3														
		英語	7	10	3	7	10	3	7	7	2	5	7	2	5														
		現代教育実践・学校教育																											
		現代教育実践・学校心理	5	28	6	22	28	6	22	5	0	5	5	0	5														
		現代教育実践・国際教育	3	9	2	7	9	2	7	3	2	1	3	2	1														
		現代教育実践・環境教育														3	13	6	7	13	6	7	3	0	3	3	0	3	
		ものづくり技術	2	6	3	3	6	3	3	2	1	1	2	1	1	1	3	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
		幼児教育	4	17	1	16	17	1	16	5	0	5	5	0	5														
		計	76	200	53	147	200	53	147	78	17	61	78	17	61	12	40	13	27	39	12	27	11	2	9	11	2	9	
	B類	国語	5	23	7	16	23	7	16	5	1	4	5	1	4														
		社会																											
		数学																											
		理科	5	23	7	16	23	7	16	5	1	4	5	1	4														
		音楽														5	31	6	25	31	6	25	5	0	5	5	0	5	
		美術	5	17	5	12	17	5	12	5	3	2	5	3	2	3	8	1	7	8	1	7	3	0	3	3	0	3	
		保健体育	4	20	12	8	19	11	8	4	2	2	4	2	2	4	17	7	10	16	6	10	4	1	3	4	1	3	
		家庭														2	7	2	5	7	2	5	1	0	1	1	0	1	
		技術	2	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
		英語	7	16	6	10	16	6	10	7	4	3	7	4	3														
		書道	4	12	1	11	12	1	11	4	0	4	4	0	4														
		情報														5	11	4	7	11	4	7	5	2	3	5	2	3	
		計	32	113	40	73	112	39	73	31	12	19	31	12	19	20	75	20	55	74	19	55	19	3	16	19	3	16	
	C類(計)		8	27	4	23	27	4	23	8	0	8	8	0	8														
	D類養護教育(計)		4	20	0	20	20	0	20	5	0	5	5	0	5														
	学校教育教員養成課程 合計			120	360	97	263	359	96	263	122	29	93	122	29	93	32	115	33	82	113	31	82	30	5	25	30	5	25
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育																											
		カウンセリング	7	27	4	23	26	4	22	7	0	7	7	0	7														
		ソーシャルワーク	2	8	1	7	6	1	5	2	0	2	2	0	2														
		多文化共生教育																											
		情報教育																											
		表現教育	5	7	1	6	7	1	6	5	1	4	5	1	4														
		生涯スポーツ														17	45	34	11	44	33	11	17	11	6	17	11	6	
	計	14	42	6	36	39	6	33	14	1	13	14	1	13	17	45	34	11	44	33	11	17	11	6	17	11	6		
教育支援課程 合計			14	42	6	36	39	6	33	14	1	13	14	1	13	17	45	34	11	44	33	11	17	11	6	17	11	6	
総計			134	402	103	299	398	102	296	136	30	106	136	30	106	49	160	67	93	157	64	93	47	16	31	47	16	31	

課程	類	コース・プログラム	帰国生選抜												私費外国人留学生選抜												
			志願者数			受験者数			合格者数			入学者数			志願者数			受験者数			合格者数			入学者数			
			男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		
学校教育教員養成課程	A類	国語																									
		社会	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0														
		数学																									
		理科																									
		音楽																									
		美術																									
		保健体育																									
		家庭																									
		英語																									
		現代教育実践・学校教育	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		現代教育実践・学校心理													1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
		現代教育実践・国際教育	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
		現代教育実践・環境教育																									
		ものづくり技術																									
		幼児教育													1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
		計	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0	
	B類	国語	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		社会																									
		数学												1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
		理科												1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
		音楽																									
		美術																									
		保健体育																									
		家庭																									
		技術																									
		英語																									
		書道																									
		情報																									
		計	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
	C類(計)		1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0														
	D類 養護教育(計)																										
	学校教育教員養成課程 合計		5	2	3	3	2	1	0	0	0	0	0	7	5	2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育												3	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0		
		カウンセリング	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0		
		ソーシャルワーク																									
		多文化共生教育	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	14	9	5	9	5	4	3	0	3	3	0	3	
		情報教育	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0													
		表現教育												1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
		生涯スポーツ	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0													
	計	4	3	1	4	3	1	3	2	1	2	2	0	20	12	8	14	7	7	3	0	3	3	0	3		
教育支援課程 合計		4	3	1	4	3	1	3	2	1	2	2	0	20	12	8	14	7	7	3	0	3	3	0	3		
総計		9	5	4	7	5	2	3	2	1	2	2	0	27	17	10	20	11	9	3	0	3	3	0	3		

課程	類	コース・プログラム	高大接続プログラム												国際バカロレア選抜												
			志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		志願者数		受験者数		合格者数		入学者数										
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
学校教育教員養成課程	A類	国語																									
		社会	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1													
		数学																									
		理科																									
		音楽																									
		美術																									
		保健体育																									
		家庭																									
		英語																									
		現代教育実践・学校教育																									
		現代教育実践・学校心理	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1													
		現代教育実践・国際教育													3	1	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
		現代教育実践・環境教育																									
		ものづくり技術																									
		幼児教育																									
		計	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	B類	国語	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1													
		社会	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0
		数学																									
		理科	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0
		音楽																									
		美術																									
		保健体育																									
		家庭	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1													
		技術																									
		英語													1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		書道																									
		情報																									
		計	4	0	4	4	0	4	4	0	4	4	0	4	3	2	1	2	2	0	2	2	0	2	2	0	0
	C類(計)													1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	
	D類 養護教育(計)																										
	学校教育教員養成課程合計			7	1	6	7	1	6	7	1	6	7	3	4	6	3	3	3	2	1	2	2	0			
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育												1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		カウンセリング												1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ソーシャルワーク																									
		多文化共生教育												1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	
		情報教育																									
		表現教育																									
		生涯スポーツ												1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	3	2	1	1	2	1	1	1	1	0	0	
	教育支援課程合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	3	2	1	1	2	1	1	1	1	0		
総計		7	1	6	7	1	6	7	1	6	7	11	4	7	8	4	4	5	3	2	3	3	0				

2. 令和8年度学部入学者選抜試験(一般選抜)合格者最高点・最低点・平均点

課程	類	コース・プログラム	募集人員	日程	日程別募集人員	合格者数	最高点	最低点	平均点	配点		
										合計点	大学入学 共通テスト	東京学芸 大学試験
学校教育教員養成課程	A類	国語	60	前	50	54	1,139	974	1,023	1,450	1,000	450
				後	10	12	1,350	1,180	1,256	1,650	1,200	450
		社会	70	前	50	53	1,117	964	1,015	1,330	1,000	330
				後	20	23	1,078	956	998	1,300	1,000	300
		数学	65	前	50	53	1,087	818	907	1,500	1,000	500
				後	15	16	1,476	1,208	1,295	1,750	1,400	350
		理科	70	前	60	63	1,136	893	973	1,440	1,000	440
				後	10	10	1,066	882	958	1,400	1,000	400
		音楽	20	前	15	16	1,078	798	904	1,240	800	440
				後	5	6	-	-	-	1,100	800	300
		美術	15	前	15	17	905	721	805	1,185	800	385
		保健体育	30	前	30	32	934	797	846	1,200	800	400
		家庭	12	前	12	14	904	833	861	1,300	1,000	300
		英語	8	前	8	5	-	-	-	1,500	1,000	500
		現代教育実践・学校教育	20	前	15	17	988	902	941	1,300	1,000	300
				後	5	5	-	-	-	1,300	1,000	300
	B類	現代教育実践・学校心理	15	前	15	17	1,163	860	995	1,350	1,000	350
		現代教育実践・国際教育	12	前	12	14	1,118	998	1,050	1,450	1,000	450
		現代教育実践・環境教育	17	前	17	19	975	890	923	1,330	900	430
		ものづくり技術	7	前	7	9	-	-	-	1,550	1,150	400
		幼児教育	16	前	16	18	1,268	1,044	1,153	1,500	1,000	500
		国語	15	前	15	17	1,870	1,554	1,663	2,300	1,000	1,300
				後	5	5	-	-	-	1,300	1,000	300
		社会	25	前	20	23	1,140	992	1,064	1,330	1,000	330
				後	5	5	-	-	-	1,300	1,000	300
		数学	25	前	20	22	1,816	1,454	1,586	2,300	1,200	1,100
				後	5	5	-	-	-	1,750	1,400	350
		理科	40	前	35	37	1,766	1,214	1,503	2,100	1,000	1,100
				後	5	5	-	-	-	1,400	1,000	400
		音楽	15	前	15	17	1,813	1,527	1,671	2,100	1,000	1,100
		美術	12	前	12	14	1,213	969	1,072	1,500	800	700
		保健体育	12	前	12	14	991	755	846	1,200	800	400
		家庭	8	前	8	10	995	825	910	1,300	1,000	300
		技術	7	前	7	10	1,134	971	1,025	1,550	1,150	400
		英語	8	前	8	9	-	-	-	1,650	1,100	550
		書道	16	前	16	18	1,427	1,086	1,262	2,000	800	1,200
		情報	15	前	15	17	986	820	874	1,550	1,100	450

課程	類	コース・プログラム	募集 人員	日程	日程別 募集 人員	合格者数	最高点	最低点	平均点	配点		
										合計点	大学入学 共通テスト	東京学芸 大学試験
学校 養成 課程 教員	C 類		32	前	32	34	869	694	776	1,200	900	300
	D 類	養護教育	6	前	6	4	-	-	-	1,400	1,000	400
教育 支援 課程	E 類	生涯学習・文化遺産教育	35	前	30	33	1,098	956	1,009	1,500	1,000	500
				後	5	6	-	-	-	1,300	1,000	300
		カウンセリング	13	前	13	16	1,166	899	1,032	1,400	1,000	400
		ソーシャルワーク	18	前	18	18	1,134	987	1,047	1,500	1,000	500
		多文化共生教育	40	前	30	33	1,365	828	1,175	1,600	1,100	500
				後	10	12	1,280	1,186	1,242	1,600	1,100	500
		情報教育	15	前	10	12	1,068	775	880	1,650	1,100	550
				後	5	5	-	-	-	1,600	1,300	300
		表現教育	15	前	15	17	2,019	1,786	1,936	2,800	1,400	1,400
		生涯スポーツ	18	前	18	20	1,128	870	949	1,400	800	600

※合格者が10名に満たないコース・プログラム（日程別）の最高点・最低点・平均点は公表しない。
 平均点は，小数第1位を四捨五入した。
 合格者には，追加合格者を含まない。

3. 令和8年度学部入学者選抜試験基準点・配点一覧表

上段基準点 下段配点

前期日程

課程	類	コース・プログラム	大学入学共通テスト									東京学芸大学入学試験	
			国語	地理歴史 公民 (注)3		数学① (注)3	数学② (注)3	理科 (注)3		外国語 (注)4	情報 (注)3		計
学校教育教員養成課程	A類	国語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	国語196, 小論文35
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	国語400, 小論文50
		社会	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	地歴・公民60, 小論文6
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	地歴・公民から1科目選択300, 小論文30
		数学	40	20	—	20	20	20	20	40	20	400	数学90, 小論文5
			200	100		100	100	200		200	100	1,000	数学450, 小論文50
		理科	40	20	—	20	20	20	20	40	20	400	理科各40, 小論文16
			200	100		100	100	200		200	100	1,000	理科2科目選択各200, 小論文40
		音楽	40	20	—	20	—	20	—	40	20	300	音楽実技150, 共通試験87, 面接24
			200	100		100	—	100		200	100	800	音楽実技250, 共通試験150, 面接40
		美術	40	20	—	20	—	20	—	40	20	300	美術実技175, 面接21
			200	100		100	—	100		200	100	800	美術実技350, 面接35
		保健体育	40	20	—	20	—	20	—	40	20	320	体育実技20, 面接60
			200	100		100	—	100		200	100	800	体育実技200, 面接200
		家庭	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	120
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	300
		英語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	60	20	400	英語270, 面接35
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	英語450, 面接50
		現代教育実践・ 学校教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	165
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	300
		現代教育実践・ 学校心理	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	70
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	350
		現代教育実践・ 国際教育	60	*30	*30	20	20	*20	*20	60	30	400	270
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	450
		現代教育実践・ 環境教育	40	20	—	20	20	20	—	40	20	360	地歴・公民80又は理科各40, 小論文8
			200	100		100	100	100		200	100	900	地歴・公民から1科目(400)又は 理科から2科目(各200)選択, 小論文30
		ものづくり技術	20	10	—	15	15	20	20	20	15	460	200
			200	100		150	150	200		200	150	1,150	400
		幼児教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	240
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	500(幼児教育課題を含む)
	B類	国語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	国語636, 小論文75
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	国語1,200, 小論文100
		社会	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	地歴・公民60, 小論文6
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	地歴・公民から1科目選択300, 小論文30
		数学	40	20	—	40	40	20	20	40	20	480	数学300, 小論文10
			200	100		200	200	200		200	100	1,200	数学1,000, 小論文100
		理科	40	20	—	20	20	20	20	40	20	400	理科各100, 小論文40
			200	100		100	100	200		200	100	1,000	理科2科目選択各500, 小論文100
		音楽	60	*20	*20	*20	—	*20	—	60	20	380	音楽実技420, 共通試験180, 面接66
			300	*100又は200		*0 又は 100	—	*0又は100		300	100	1,000	音楽実技700, 共通試験300, 面接100
		美術	40	*10	*10	*10	—	*10	—	20	20	250	美術実技300, 面接120
			200	*100又は200		*0 又は 100	—	*0又は100		200	100	800	美術実技500, 面接200
		保健体育	40	20	—	20	—	20	—	40	20	320	体育実技20, 面接60
			200	100		100	—	100		200	100	800	体育実技200, 面接200
		家庭	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	120
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	300
		技術	20	10	—	15	15	20	20	20	15	460	200
			200	100		150	150	200		200	150	1,150	400
		英語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	100	20	440	英語300, 面接35
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		300	100	1,100	英語500, 面接50
		書道	40	20	—	20	—	20	—	40	20	320	国語152, 書道実技270, 小論文80
			200	100		100	—	100		200	100	800	国語400, 書道実技600, 小論文200
		情報	40	20	—	20	20	20	20	40	40	440	数学I, 面接30
			200	100		100	100	200		200	200	1,100	数学400, 面接50

前期日程

課程	類	コース・プログラム	大学入学共通テスト										東京学芸大学入学試験
			国語	地理歴史 公民 (注)3		数学① (注)3	数学② (注)3	理科 (注)3		外国語 (注)4	情報 (注)3	計	
学校 養成 教育 課程 教員	C 類		40	20	—	20	20	20	—	40	20	360	小論文53, 面接38
			200	100		100	100	100		200	100	900	小論文150, 面接150
	D 類	養護教育	40	20	—	20	20	20	20	40	20	400	小論文180, 面接60
			200	100		100	100	200		200	100	1,000	小論文300, 面接100
教育 支援 課程	E 類	生涯学習・文化遺産教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	150
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	500
		カウンセリング	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	244
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	400
		ソーシャルワーク	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	380	300
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	500
		多文化共生教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	60	20	220	75
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		300	100	1,100	500
		情報教育	40	20	—	20	20	20	20	40	40	440	数学1, 面接25
			200	100		100	100	200		200	200	1,100	数学500, 面接50
		表現教育	30	*10	*10	10	10	*10	*10	50	10	140	840
			300	*100又は200		100	100	*100又は200		500	100	1,400	1,400
		生涯スポーツ	40	20	—	20	—	20	—	40	20	320	書類30, 面接90
			200	100		100	—	100		200	100	800	書類300, 面接300

(注) 1. 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。

2. 大学入学共通テストの *印付きは、選択教科・科目を示す。「*0又は100」については、科目を選択しない場合は0, 1科目選択の場合は100とし、「*100又は200」については、1科目選択の場合は100, 2科目選択の場合は200とする。

3. 地理歴史、公民⇒「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、
「地理総合／歴史総合／公共(出題範囲から2つを選択解答)」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」

数学①⇒「数学Ⅰ、数学A」

数学②⇒「数学Ⅱ、数学B、数学C」

理科⇒「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(出題範囲から2つを選択解答)」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」

情報⇒「情報Ⅰ」

4. 外国語において「英語」を受験した場合、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計を、配点比率1対1のまま本表の配点に換算する。
ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除されている者については、リーディングの得点を本表の配点に換算する。

○合否判定基準について

本学では、大学入学共通テストの科目の得点及び合計得点と、東京学芸大学入学試験の科目の得点のうち、1科目でも本学の定めた基準点に達していない場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とする制度を採用している。

本学が指定した東京学芸大学入学試験の指定の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外する。

○この一覧表は、令和8年度学部入学者選抜試験(一般選抜)の基準点であり、令和9年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。

後期日程

課程	類	コース・プログラム	大学入学共通テスト										東京学芸大学入学試験
			国語	地理歴史 公民 (注)3		数学① (注)3	数学② (注)3	理科 (注)3		外国語 (注)4	情報 (注)3	計	
学校教育教員養成課程	A類	国語	80	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	480	270
			400	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,200	450
		社会	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	60
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	300
		数学	40	20	—	60	60	20	20	40	20	560	210
			200	100		300	300	200		200	100	1,400	350
		理科	40	20	—	20	20	20	20	40	20	400	160
			200	100		100	100	200		200	100	1,000	400
		音楽	40	20	—	20	—	20	—	40	20	300	音楽実技156, 面接24
			200	100		100	—	100		200	100	800	音楽実技260, 面接40
		現代教育実践・学校教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	150
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	300
	B類	社会	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	60
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	300
		数学	40	20	—	60	60	20	20	40	20	560	210
			200	100		300	300	200		200	100	1,400	350
		理科	40	20	—	20	20	20	20	40	20	400	160
			200	100		100	100	200		200	100	1,000	400
教育支援課程	E類	生涯学習・文化遺産教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	20	400	75
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	100	1,000	300
		多文化共生教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	60	20	220	200
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		300	100	1,100	500
		情報教育	40	20	—	40	40	20	20	40	40	520	150
			200	100		200	200	200		200	200	1,300	300

- (注) 1. 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。
2. 大学入学共通テストの *印付きは, 選択教科・科目を示す。「*100又は200」については, 1科目選択の場合は100, 2科目選択の場合は200とする。
3. 地理歴史, 公民⇒「地理総合, 地理探究」, 「歴史総合, 日本史探究」, 「歴史総合, 世界史探究」,
「地理総合／歴史総合／公共(出題範囲から2つを選択解答)」, 「公共, 倫理」, 「公共, 政治・経済」
- 数学①⇒「数学Ⅰ, 数学A」
- 数学②⇒「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」
- 理科⇒「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(出題範囲から2つを選択解答)」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」
- 情報⇒「情報Ⅰ」
4. 外国語において「英語」を受験した場合, リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計を, 配点比率1対1のまま本表の配点に換算する。
ただし, 大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除されている者については, リーディングの得点を本表の配点に換算する。

○合否判定基準について

本学では, 大学入学共通テストの科目の得点及び合計得点と, 東京学芸大学入学試験の科目の得点のうち, 1科目でも本学の定めた基準点に達していない場合は, 総合得点の如何にかかわらず不合格とする制度を採用している。

本学が指定した東京学芸大学入学試験の指定の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は, 選抜の対象から除外する。

○この一覧表は, 令和8年度学部入学者選抜試験(一般選抜)の基準点であり, 令和9年度学部入学者選抜試験の基準点については, あらかじめ定めることになる。

4. 令和8年度学校推薦型選抜 配点・基準点一覧表

上段基準点 下段配点

課程	専攻(類)	コース・プログラム	面 接	小論文	実技試験	書類	
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初等教育専攻(A類)	国語	124	70	－	－	
			180	120	－	－	
		理科	30	30	－	－	
			150	150	－	－	
		美術	60	60	60	－	
			100	100	100	－	
		保健体育	50	50	25	15	
			100	100	50	50	
		家庭	40	80	－	－	
			100	200	－	－	
		英語	50	120	－	－	
			100	200	－	－	
		現代教育実践・学校心理	21	26	－	－	
			200	100	－	－	
		現代教育実践・国際教育	140	60	－	－	
			200	100	－	－	
		ものづくり技術	100	70	－	－	
			150	150	－	－	
		幼児教育	100	54	－	－	
			200	100	－	－	
	中等教育専攻(B類)	国語	144	70	－	－	
			180	120	－	－	
		理科	30	30	－	－	
			150	150	－	－	
		美術	60	60	60	－	
			100	100	100	－	
		保健体育	50	50	50	－	
			100	100	100	－	
		技術	100	70	－	－	
			150	150	－	－	
		英語	50	120	－	－	
			100	200	－	－	
		書道	60	50	50	－	
			100	100	100	－	
	特別支援教育専攻(C類)			60	60	－	－
				150	150	－	－
	養護教育専攻(D類)		養護教育	100	100	－	－
				150	150	－	－
教 育 支 援 課 程	教育支援専攻(E類)	カウンセリング	66	34	－	－	
			200	100	－	－	
		ソーシャルワーク	50	100	－	－	
			100	200	－	－	
		表現教育	120	60	－	－	
			200	100	－	－	

(注) 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。

○合否判定基準について

本学では、面接、小論文、実技試験等の得点が、本学の定めた基準点に達していない場合は不合格とする制度を採用している。

○この一覧表は、令和8年度学部入学者選抜試験(学校推薦型選抜)の基準点であり、令和9年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。

5. 令和8年度総合型選抜 配点・基準点一覧表

上段基準点 下段配点

〔第一次選考〕

課程	専攻(類)	コース・プログラム	入学希望理由書	活動報告書	学修計画書
学校教育 教員養成課程	初等教育専攻(A類)	音楽	24	24	12
			40	40	20
		美術	20	20	10
			40	40	20
		現代教育実践・環境教育	10	10	5
			40	40	20
		ものづくり技術	20	20	10
			40	40	20
	中等教育専攻(B類)	音楽	24	24	12
			40	40	20
		美術	20	20	10
			40	40	20
		保健体育	20	20	5
			40	40	20
		家庭	15	15	8
			40	40	20
教育支援課程	教育支援専攻(E類)	生涯スポーツ	20	20	5
			40	40	20

〔第二次選考〕

課程	専攻(類)	コース・プログラム	面接	小論文	適性検査
学校教育 教員養成課程	初等教育専攻(A類)	音楽	48	72	60
			80	120	100
		美術	60	60	60
			100	100	100
		現代教育実践・環境教育	100	40	－
			200	100	－
		ものづくり技術	100	－	100
			150	－	150
	中等教育専攻(B類)	音楽	48	60	72
			80	100	120
		美術	60	60	60
			100	100	100
		保健体育	100	35	－
			200	100	－
		家庭	160	40	－
			200	100	－
教育支援課程	教育支援専攻(E類)	生涯スポーツ	100	35	－
			200	100	－

(注) 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。

○可否判定基準について

本学では、出題教科・科目等の得点が、本学の定めた基準点に達していない場合は不合格とする制度を採用している。

○この一覧表は、令和8年度学部入学者選抜試験(総合型選抜)の基準点であり、令和9年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。